

は じ め に

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和51年5月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心にした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、広く学びの場を提供してまいりました。おかげをもちまして、平成23年度で開館36年目を迎えます。大変多くの皆様にご利用いただきましたことに心から感謝申し上げます。

平成20年6月に博物館法が改正され、博物館の在り方そのものが改めて大きく問われています。当博物館も県の中核博物館としての責務を果たすべく、時代の変化に対応した運営や活動が求められています。そこで、当博物館では、ミッションを「文化の継承と発展」、ビジョンを「愛郷心の高い県民の育成」と設定し、県民の皆様が、実物や実体験を通して、郷土の価値を発見できるように努めております。

さて、平成22年度は、特別展1回、資料紹介展等5回、マイミュージアムギャラリーの展示7回を実施いたしました。特別展「川ーカワ・イイね！～流れが作り出す自然～」(7/2～8/31)は、「第30回全国豊かな海づくり大会」の協賛行事として、岐阜県の川をとりまく自然を、地形、地質、生物にわたり広く紹介し、自然豊かな郷土を再認識していただきました。本展では、宇宙航空研究開発機構(JAXA)のご協力を得て、多数の衛星写真を展示し、岐阜県の地形の特徴をダイナミックに感じ取っていただくことができました。また、平成21年度から実施したアウトリーチ事業「自河自賛プロジェクト」において、県内の児童生徒が行った水生生物や水質の調査の様子と参加した子どもたちの感想を紹介する場を設け、県民の皆様と当博物館が協働して調査した成果も発表いたしました。

このほか、資料紹介展等として、「博物館で“お宝”みい～つけた!」(4/10～5/16)、「川と海を旅する魚たち」(5/29～7/19)、「飛騨美濃発掘20年」(9/18～11/14)、「自然を楽しむ科学の眼2010ー2011(第31回 日本自然科学写真協会写真展)」(11/20～12/26)、「鉄道沿線～光と陰～」(3/8～4/10)を開催いたしました。

アウトリーチ事業では、文部科学省の公募事業「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」における実証的共同研究に対して、「ふるさとを担う次世代の育成に対する大人の意識変容要因を探る実践研究」を企画して応募したところ、採択されました。そして、県内三地区との協働による実践研究の成果を、岐阜県「地域発!ふるさと学習」研究報告会にて、発表いたしました。

平成23年度には、開館35周年記念特別展として、「濃尾震災120年」を開催します。平成23年は、濃尾震災から120年目に当たります。また、岐阜県博物館は自然科学・人文科学を擁する総合博物館として開館35周年を迎えます。この機会に、濃尾震災に関する資料を展示するとともに、自然科学、人文科学双方からのアプローチによって濃尾震災を解明し、地震のメカニズムや猛威、それに向き合う人々の姿を浮き彫りにします。この展示をとおして、現在あるいは将来の地震対策について、もう一度家庭や地域の視点から考える機会を提供することとします。

このほか、本年度も、資料紹介展等(4回)、マイミュージアムギャラリーの展示(7回)、催しもの、わくわく体験コーナーなど、広く県民の皆様楽しんでいただける催事を多数計画しております。また、調査研究活動、資料収集保管活動、当館サポーター協働事業、外部機関との連携といった博物館活動も充実させるよう努めてまいります。

ここに、平成22年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第34号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご覧いただき、当館の更なる発展のためにご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年4月1日

岐阜県博物館長 河 合 正 明

目 次

はじめに	1
I 博物館概要	
○設置目的	3
○基本的性格と方針	3
○沿革・歴代館長名簿	4
○施設・設備	6
II 平成22年度のあゆみ	
○組織	8
○日誌抄	9
○岐阜県博物館協議会	9
○実施事業の概要	10
○平成22年度特別展「川ーカワ・イイね！～流れがつくり出す自然～」 ..	11
○資料紹介展1「博物館で“お宝”みい～つけた！」	12
○資料紹介展2「川と海を旅する魚たち」	13
○岐阜県文化財保護センター発掘速報展特別企画「飛騨美濃発掘20年」 ..	14
○第31回 日本自然科学写真協会写真展	
「自然を楽しむ科学の眼 2010－2011」	15
○資料紹介展3「鉄道沿線～光と陰～」	16
○マイミュージアムギャラリー	17
○調査研究・資料収集活動	
□人文部門	19
□自然部門	21
□マイ・ミュージアム部門	23
○教育普及活動	24
○利用状況	32
○博物館関係団体	33
III 利用案内（平成23年度）	35

I 博物館概要

〔設置目的〕

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

〔基本的性格と方針〕

1 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

2 基本方針

(1) 資料収集

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う資料紹介展・特別展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ① 生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示
- ② 資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展

示

- ③ 各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
- ④ できる限り実物資料の展示とするが、更に図表、模型等他種類の資料も活用した展示
- ⑤ できる限り資料に直接触れることのできる展示
- ⑥ 視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
- ⑦ 解説が明確で分かりやすい展示
各展示室の主題と内容は、次のとおりである。
 - 人文展示室1（人文総合展示）
主題「郷土のあゆみ」…先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。
 - 人文展示室2（人文課題展示・企画展示）
主題「郷土の民俗と美術工芸」…特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。
 - 自然展示室1（自然総合展示）
主題「郷土の自然とおいたち」…郷土の自然の概要を生態的に展示する。
 - 自然展示室2（自然課題展示）
主題「郷土のさまざまな自然」…特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
 - 特別展示室（企画展示）
資料紹介展などの企画展示を行う。

(3) 調査研究

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育・普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力を努める。
- ・サポーターとの協働や県民の自主活動の支援事業等を推進する。

〔沿革〕

〔沿革〕			覚者〕			置県120年・岐阜鹿児島				
昭和46年	3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	昭和59年	4月	特別展「濃飛の戦国武将」	平成	10月	置県120年・岐阜鹿児島姉妹県盟約20周年記念展「鹿児島～その自然と歴史～」		
			7月	特別展「ふるさとの昆虫」	11月		入館者140万人を突破			
			8月	入館者90万人を突破	4年		3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申		
	4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置		10月	学習ビデオスタジオコーナーを設置					
昭和47年	6～9月	博物館懇談会を設ける	昭和60年	4月	特別展「濃飛の蘭学」					
			7月	特別展「濃飛の縄文時代」						
			10月	特別展「鉱物の世界」						
昭和48年	4月	博物館開設準備室を設置		10月	特別展「美濃の刀剣」		4月	特別展「飛騨のあけぼの～交流する縄文・古代人～」		
			8月	起上式挙行						
			12月	自然展示室2を改装						
昭和49年	3月	展示実施計画樹立	昭和61年	4月	特別展「徳山の四季とくらし」		7月	特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」		
			10月	定礎式						
			7月	特別展「奥飛騨の自然」		10月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」			
昭和50年	3月	展示工事着手		9月	人文展示室1を改装		11月	小中学生常設展入館料無料化		
			7月	本館建築竣工						
			10月	開館10周年記念式典を挙行						
昭和51年	4月	岐阜県博物館条例公布		10月	開館10周年記念展「ふるさとの祭り」	平成	5年	3月	入館者150万人を突破	
			5月	開館記念式典挙行		4月	特別展「土と炎の芸術」			
			9月	一般公開	昭和62年	4月	特別展「飛騨の弥生時代」		9月	29日大型ほ乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘
昭和52年	5月	特別展「熊谷守一展」		7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」		10月	特別展「失われゆく植物」		
			7月	皇太子・同妃殿下行啓		11月	「ハイパーハイビジョン風土記」イメージジョンレーションソフトの完成			
			8月	特別展「ふるさとの文楽」						
昭和53年	4月	入館者10万人を突破	昭和63年	1月	自然展示室1を改装	平成	6年	1月	20日マイ・ミュージアム棟起工式	
			4月	特別展示室ショーケース改修		3月	大型ほ乳類足跡化石を展示			
			7月	特別展「ふるさとの湿原」		4月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」			
昭和54年	7月	特別展「郷土の化石展」		10月	特別展「中生代の化石」		8月	恐竜の歯等荘川村で発見		
			11月	特別展「鉄斎」		9月	特別展「美濃山地の自然」			
			4月	入館者30万人を突破	平成元年	4月	特別展「濃飛の古墳時代」		10月	入館者160万人を突破
昭和55年	7月	特別展「世界のコガネムシ」		7月	特別展「ふるさとの野鳥」		12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95展示化石の借用、交流の推進）		
			8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見						
			10月	特別展「能面と装束」		10月	特別展「移ろいゆく年中行事」	平成	7年	3月
昭和56年	4月	入館者40万人を突破		11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊の寄贈を受ける					
			7月	特別展「世界の貝」						
			10月	特別展「濃飛の文人」	平成	2年	4月	特別展「輪中と治水」		4月
昭和57年	4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」		7月	特別展「白山の自然」		7月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙行		
			5月	入館者50万人を突破						
			7月	特別展「化石の世界」						
昭和58年	10月	特別展「養蚕山人」			グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）					
			4月	特別展「美濃の絵馬」						
			5月	入館者60万人を突破						
昭和59年	7月	特別展「御岳山は生きている」			岐阜県博物館協議会に、「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問		8月	恐竜ゼミナールGIFU' 95開催		
			10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」		10月	特別展「美濃・飛騨の古代史発掘～律令国家の時代～」			
			10月	特別展「高賀山の信仰」						
昭和60年	4月	入館者70万人を突破		10月	特別展「濃飛の仏像」					
			7月	特別展「ふるさとの植物」		12月	岐阜県博物館協議会から中間答申			
			10月	特別展「東洋の貨幣」	平成	3年	3月	岐阜県博物館案内標識を設置		
昭和61年	4月	特別展「岐阜県の考古遺物」		4月	特別展「ふるさとの木の文化」		11月	円空シンポジウム「世界における円空」		
			5月	入館者80万人を突破						
			7月	特別展「長良川」						
昭和62年	10月	特別展「郷土の生んだ先		7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」	平成	8年	4月	高校生常設展入館料無料化	

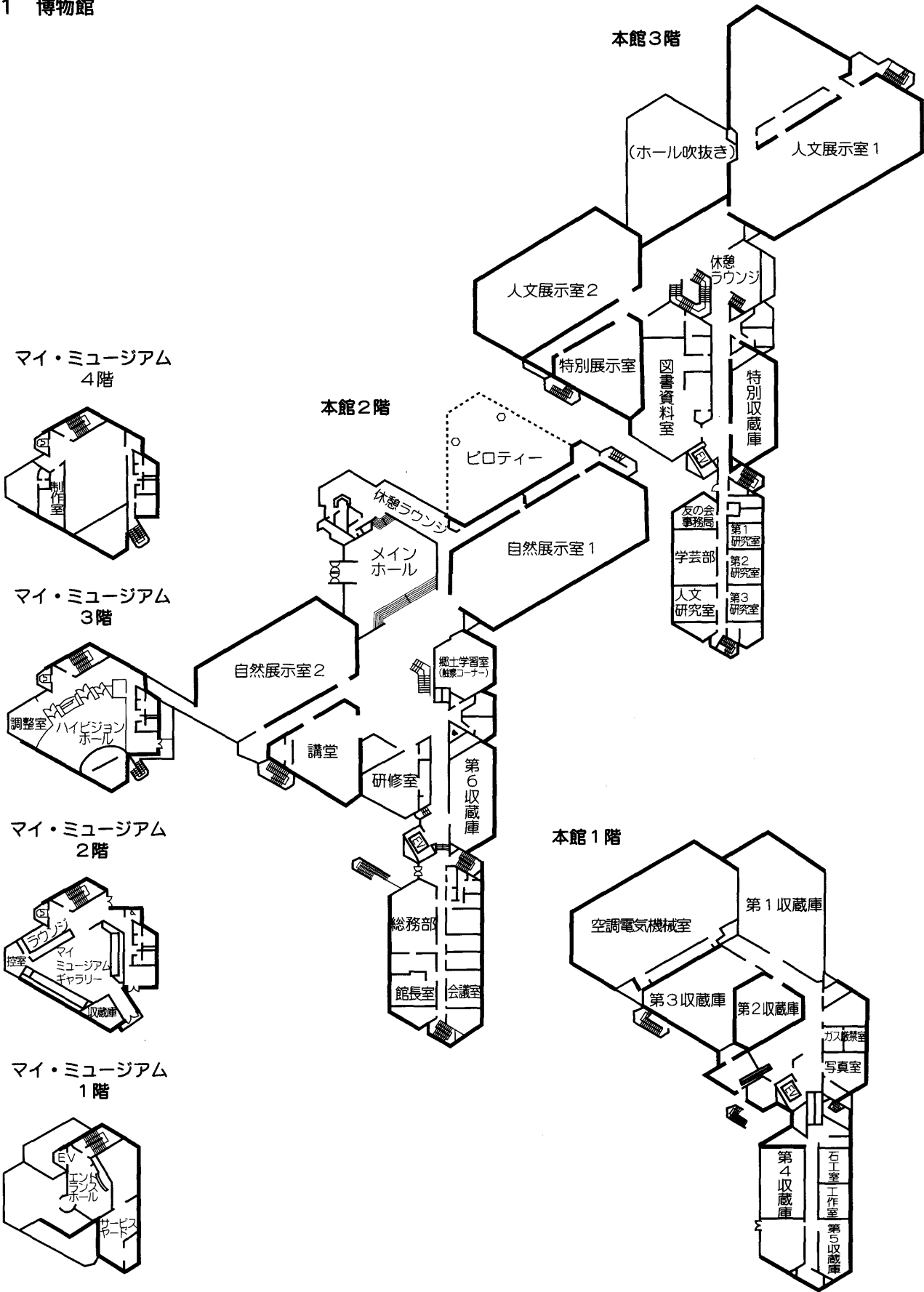
5月	入館者170万人を突破	10月	特別展「水とまつり～古代人の祈り～」	5月	入館者230万人を突破
7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」		特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」	7月	特別展「線路はつづくよ～岐阜、鉄道のあゆみ～」
8月	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学附属地球科学博物館と友好提携調印式挙行	平成12年 7月	特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」	9月	特別展「『名水・温泉・名勝』展～水と大地のハーモニー～」
10月	飛騨美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」	9月	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」	平成18年 4月	開館30周年記念式典挙行 開館30周年記念特別展「緑いきいき！岐阜の森」
11月	飛騨美濃合併120周年記念「文化講演会」 講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏	11月	入館者200万人を突破	5月	開館30周年記念植樹 モリゾー・キッコロ来館 全国植樹祭中濃サテライト会場～来館者全員招待入館～
平成 9年 3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 中山道編ソフト完成	平成13年 7月	特別展「あゝのころいた鳥～そういえばトキもおったげな～」	8月	入館者240万人を突破 飛騨美濃合併130周年記念行事博物館1日無料開放
4月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」	9月	特別展「七代目団十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」	9月	飛騨美濃合併130周年記念特別展「錦絵が語る美濃と飛騨」
9月	特別展「葉草のふるさと伊吹」	11月	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」(マイミュージアムギャラリー) 全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001グランプリ受賞	11月	文化の日博物館無料開放
11月	入館者180万人を突破 棚橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」財団法人日本博物館協会表彰	平成14年 2月	NEDO共同研究事業太陽光発電システム完成	平成19年 7月	特別展「恐竜と生命の大進化～中国雲南5億年の旅～」
平成10年 3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 飛騨街道・郡上街道編ソフト完成 アロサウルス骨格標本展示	3月	バリアフリー対策事業小型モノレール(スロープカー)完成	9月	特別展「発掘された日本列島2007～新発見考古速報展～」
4月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」	4月	特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ」	10月	入館者250万人を突破
7月	特別展「つのつのかぶとむし」	5月	入館者210万人を突破	11月	文化の日博物館無料開放
9月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」	10月	特別展「中山道街道400年」	平成20年 5月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」3,800冊の寄贈を受ける
平成11年 7月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」	平成15年 7月	特別展「昭和くらしの歩み～30年代を中心に～」	9月	特別展「骨のあるやつ」
9月	入館者190万人を突破 特別展「恐竜時代」 入館者4万人突破	9月	特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、葉草の魅力～」	11月	文化の日博物館無料開放
		平成16年 7月	入館者220万人を突破 特別展「タイムトラベル 石器時代～大昔はどんなくらしをしていたの？～」	平成21年 9月	特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」
		9月	特別展「里山ミュージアム～ドングリころころオオカバぶゅーん～」	10月	入館者260万人を突破
		平成17年 4月	高校生以下入館料年間無料化(特別展入館料無料化)	11月	文化の日博物館無料開放
				平成22年 7月	特別展「川ーカワ・イイね！～流れがづくり出す自然～」
				11月	文化の日博物館無料開放

歴代館長名簿

	在職期間(年度)	氏 名		在職期間(年度)	氏 名
1	昭和51年	小 幡 忠 良	11	平成 7年～平成 8年	清 水 廣 美
2	昭和52年～昭和54年	松 尾 克 美	12	平成 9年～平成10年	高 田 晃
3	昭和55年～昭和56年	大 橋 桃之輔	13	平成11年～平成12年	遠 藤 祐 神
4	昭和57年～昭和58年	吉 本 幹 彦	14	平成13年～平成14年	高 橋 宏 之
5	昭和59年	関 谷 美智男	15	平成15年～平成16年	武 山 栲 司
6	昭和60年～昭和61年	廣 田 照 夫	16	平成17年	下 畑 五 夫
7	昭和62年～昭和63年	森 崎 利 光	17	平成18年	古 川 和 明
8	平成元年～平成 2年	伊 藤 秀 幸	18	平成19年～平成20年	高 屋 一 行
9	平成 3年～平成 4年	篠 田 幸 男	19	平成21年	浅 野 裕 司
10	平成 5年～平成 6年	横 山 勢津男	20	平成22年	石 田 克

〔施設・設備〕

1 博物館



・主要室（名及び面積）

本館	室名	面積（㎡）	マイ・ミュージアム	室名	面積（㎡）
1階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0			
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
2階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫室	202.3 25.3 18.5
	自然展示室2	478.8			
	郷土学習室	95.4			
	講堂	174.5	3階	ハイビジョンホール 調整室	192.3 47.0
	研修室	93.2			
	第6収蔵庫	142.8			
3階	人文展示室1	942.3	4階	制作室等	281.3
	人文展示室2	478.8			
	特別展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			

2 館外施設

(1) 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

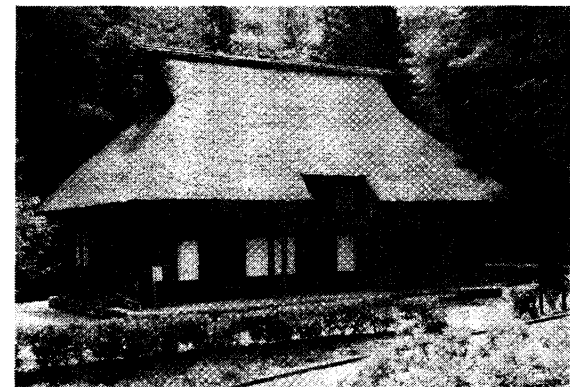
全長約830mで、途中見晴らし台が3か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。

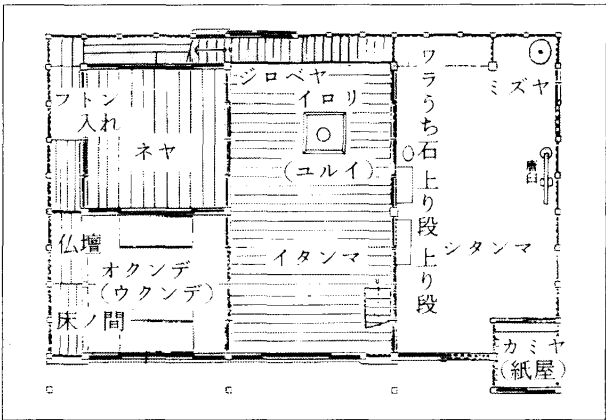
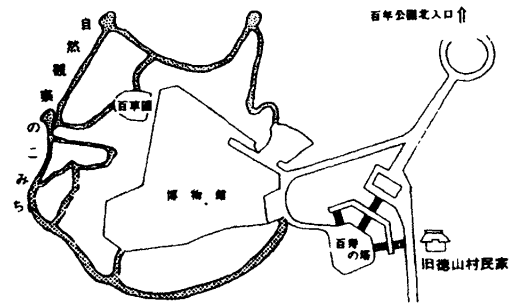
(2) 旧徳山村民家

徳山ダム建設計画に伴い、徳山村は閉村となり揖斐川町になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料開放している。なお、平成13年9月、茅葺屋根の一部葺き替えを実施した。

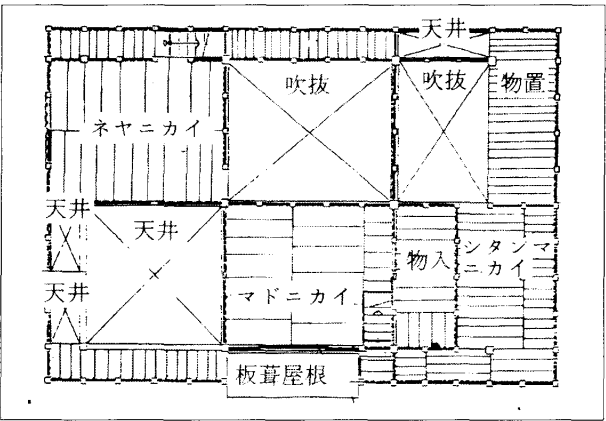
- ・様式 木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材 ブナ、トチ
- ・建面積 120.97㎡
- ・延面積 197.48㎡
- ・間取り 右図参照
- ・建築年代 幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋根 入母屋、切り落とし窓つき



旧徳山村民家



▲1階間取り図

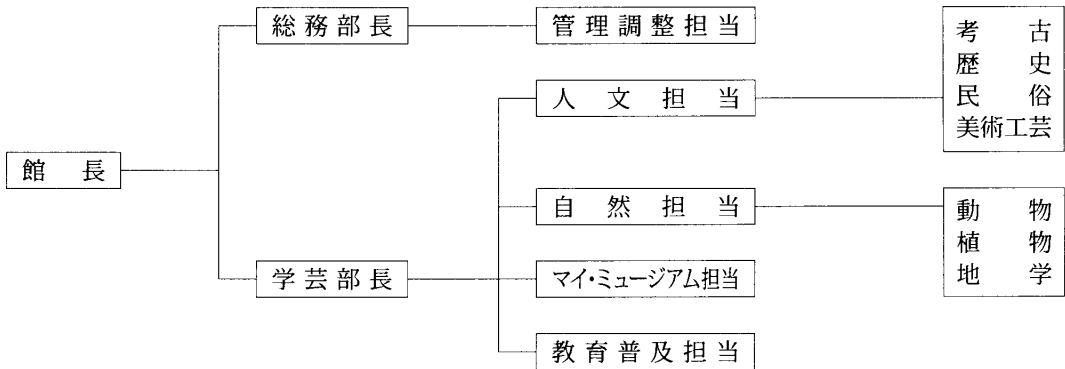


▲2階間取り図

II 平成22年度のあゆみ

[職員]

1 機構



2 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	石田 克	【学芸部】		【マイ・ミュージアム担当】	
【総務部】		学芸部長	大澤 洋司	課長補佐	浦崎 太郎
総務部長	井上 幸治	[人文担当]		"	後藤 秀樹
[管理調整担当]		課長補佐(歴史)	山田 昭彦	[教育普及担当]	
課長補佐	溝口 賢一	課長補佐(考古)	長屋 幸二	課長補佐	竹村 宗近
主査	山田 美樹	主査(民俗)	南本 有紀	"	加藤 信男
主任	尾関 睦治	主任(美術工芸)	守屋 靖裕	"	酒井 立人
"	野田 路世	[自然担当]		学芸業務専門職	山本 義明
管理業務専門職	西部 真由美	課長補佐(地学)	西谷 徹	"	石井 昭司
"	小泉 あゆみ	"(植物)	千藤 克彦		
"	米田 美里	主査(動物)	説田 健一		
"	岡 友恵	学芸業務専門職(古生物)	桂 嘉志浩		
"	中塩 優子				
"	藤田 敦子				
日日雇用職員	杉山 栄子				

3 異動

転出者	館長	浅野 裕司	転入者	館長	石田 克
	学芸部長	後藤 稔治		学芸部長	大澤 洋司
	課長補佐	林 隆		課長補佐	溝口 賢一
	"	山田 政春		"	後藤 秀樹
	"	山田 暁男		"	酒井 立人
	主査	村山 朋子		主査	尾関 睦治
	主任	志水 順子		"	南本 有紀
	管理業務専門職	北野 憲弘		管理業務専門職	石井 昭司
	"	江崎 絢子		"	藤田 敦子

〔日誌抄〕

4. 4 人事異動に伴う辞令交付

1 老大師墨跡・茶道具・床置展
(～5/9)

10 資料紹介展「博物館で“お宝”みい
～つけた！」(～5/16)

11 ギフチョウ観察会

18 家族で春の里山ウォッチング

21 里山ウォッチング

25 鉱物アクセサリをつくろう
5. 5 木のこいのぼり・五月人形

3 化石のレプリカをつくろう

4 春のグリーンアドベンチャー

9 古文書入門(1)

19 里山ウォッチング

23 懐かしのビン(～6/27)

23 長良川の源流を訪ねて

29 世界で一つだけのサケ缶をデザイン
しよう！

29 資料紹介展「川と海を旅する魚た
ち」(～7/19)

30 みんなでつくる川の世界

30 楽しい折り紙教室
6. 3 博物館活用講座「石器づくり・火お
こし体験のつぼ」

6 化石をみがいてペーパーウェイトを
つくろう

9 授業活用講座「化石レプリカの作成
方法」

16 里山ウォッチング

20 おいでよ！博物館

27 魚の捕り方教えます～ビोटープの
魚調べ～
7. 2 特別展「川・カワ・イイね～流れが
つくり出す自然～」(～8/31)
- 4 夏の小川で魚捕り

10 おいしく学ぶサケ缶のヒミツ

11 ウロコ博士とウロコD E アート

11 おもしろ木彫り～切り絵・古布の人
形とのコラボ展～(～8/22)

18 家族で夏の里山ウォッチング

19 木の恐竜と動くおもちゃづくり

21 里山ウォッチング

23 博物館活用講座「生活道具を教材に
しよう」

25 家族で昆虫標本をつくろう

31 家族でナイトウォッチング
8. 1 火おこし器をつくろう

7 川原の石を調べよう

8 家族で昆虫標本をつくろう

15 化石のレプリカをつくろう

18 里山ウォッチング

22 化石クリーニング体験
9. 5 古文書入門(2)

5 日本とアラビアのレリーフ陶芸

12 アートに挑戦 ザ・陶板！

15 里山ウォッチング

18 岐阜県文化財保護センター発掘速報
展特別企画「飛騨美濃発掘20年」
(～11/14)

19 おいでよ！博物館

20 アートに挑戦 ザ・陶板！

23 まが玉をつくろう
10. 7 物館活用講座「五感を活用した自然
観察の方法」

10 木の実で遊ぶ

11 まが玉をつくろう

17 飛騨のわら細工(～11/21)

17 家族で秋の里山ウォッチング
- 17 わら細工実演

20 里山ウォッチング

24 アメリカ化石調査報告会

30 わら細工実演

31 わら馬をつくろう
11. 2 わら細工実演

3 わら細工実演

17 里山ウォッチング

20 第31回日本自然科学写真協会写真展
「自然を楽しむ科学の眼」
(～12/26)

20 わら細工実演

21 徳山のくらしを体験しよう

21 わら細工実演

28 世界遺産探訪の歩み～写真・絵画・
思い出の品～(～1/10)
12. 12 和風をつくろう(やっこ風)

15 里山ウォッチング

19 わら細工～しめ飾りをつくろう～
1. 6 春の七草ウォッチング

7 七草がゆを食べよう

16 津保川でカモを観察しよう

19 里山ウォッチング
2. 22 甦る古布の布絵展(～3/27)

16 里山ウォッチング

20 家族で冬の里山ウォッチング
3. 6 古文書入門(3)

9 古布でコースターをつくろう

16 里山ウォッチング

20 資料紹介展「鉄道沿線～光と陰～」
(～4/10)

20 百年公園の自然調査報告会

21 おいでよ！博物館

〔岐阜県博物館協議会〕

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏 名	現 職 名
片 岡 学 史	岐阜放送総務局長
野 口 宏	中日新聞岐阜支社長
清 田 善 樹	岐阜聖徳学園大学教育学部教授
興 英 樹	公募委員
後 藤 真 澄	中部学院大学人間福祉学部教授
◎古 屋 康 則	岐阜大学教育学部准教授
砂 押 宏 行	N H K 岐阜放送局長
高 木 洋	日本考古学協会員
長 瀬 秀 子	岐阜県小中学校校長会員関市立武儀東小学校長
松 田 真 美	岐阜県P T A 連合会母親委員
安 田 たか子	安田学園虹ヶ丘幼稚園長
山 田 京 子	岐阜県博物館友会の会理事

◎会長 (平成23年3月2日現在 五十音別・敬称略)
任期は平成22年9月24日から平成24年9月23日

- (開催状況)
月 日 11月11日(木)
場 所 岐阜県博物館 講 堂
議 題
・報告事項
(1)岐阜県博物館の概要について
・協議事項
(1)将来構想に基づく3ヶ年計画の進捗状況
(2)平成23年度の特別展等について
○主な質疑事項
・催しものへの参加状況、参加者の特徴について
・出前授業の実施状況について
・アウトリーチ事業への取り組み方について
・サポーターの募集や活動について
・来年度特別展「濃尾震災120年」について

〔実施事業の概要〕

「文化の継承と発展～郷土の過去を理解し、現在を把握し、未来を展望する人をつくる。すなわち、岐阜県の自然をこよなく愛し、文化の継承と発展に寄与する県民を育成する。～」を平成22年度ミッションとして、特別展や資料紹介展などの企画展、マイミュージアムギャラリーの展示を開催した。その他、参加体験型の教育普及事業として78回の催事、学芸員による出前授業や出前講師など多くの事業を展開した。また、支援型アウトリーチ事業「郷・豊夢プロジェクト」の研究推進にあたり、文科省が公募する「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」における実証的共同研究事業に応募し、採択された。当館が事務局となり岐阜県「地域発！ふるさと学習」研究協議会を県内3モデル地区と設立。その研究成果を、2月26日に岐阜市のじゅうろくプラザで発表し、参加者から高い評価を得た。

今年度、1月12日～2月20日を休館とし本館空調機・照明設備改修工事等を実施した。照明設備改修工事では、本館ホールの天井照明の取替え、人文展示室2及び特別展示室Bケースの照明・ルーバーや各展示室の調光盤の更新ができた。また、屋外ではピロティ床面や団体対応階段の補修、漏水防止のためのホールガラス面及び植栽撤去工事等を行った。これらの工事は、国の補正予算（地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業）により実施した。また、今年度「岐阜県ミュージアムひだ」が廃止されたことから、民俗資料を中心に所蔵資料の大部分が当館に移管替えされた。

展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文関係では、人文展示室1及び2の可変展示コーナーや独立ケースの展示替えを約30回行った。昭和の居間再現コーナーでは季節感を出す展示替えに努めた。自然関係では、自然展示室2の可変展示コーナーで世界の三葉虫を、独立ケースで世界の蝶やナラ枯れについてなど、約10回の展示替えを行った。	—
特別展 「川ーカワ・イイね！～流れが つくり出す自然～」	7/ 2（金） ～8/31（火）	岐阜県の川をとりまく自然を地形、地質、生物にわたり広く紹介した。また、昨年度実施したアウトリーチ事業「自河自賛」での子どもの活動も併せて紹介した。関連事業としては、自然観察会を4回実施した。	7,117
資料紹介展 「博物館で“お宝”みい～つけた！」	4/10（土） ～5/16（日）	リニューアル工事（外壁補修等）の完成を記念して、収蔵品の中から“お宝”を選びすぐって紹介した。人文系では、春日神社（本巣市根尾）の「能装束」などを、自然系では「カモノハシのはく製」などを展示した。	6,806
資料紹介展 「川と海を旅する魚たち」	5/29（土） ～7/19（月・祝）	回遊魚であるサケ、アユなどの生活史や生態、最新情報、環境問題について紹介した。また、岐阜大学学生による企画展「徹底比較！長良川鵜飼vs小瀬鵜飼」を同時に開催した。	6,064
岐阜県文化財保護センター発掘速報展特別企画展 「飛騨美濃発掘20年」	9/18（土） ～11/14（日）	平成3年に財団法人岐阜県文化財保護センターが発足して、今年で20年になるのを機会に、これまでに行った発掘調査の成果をふりかえる展示を開催した。	12,378
第31回日本自然科学写真協会写真展 「自然を楽しむ科学の眼2010-2011」	11/20（土） ～12/26（日）	動植物・水中・天体・地形・風景・顕微鏡写真などを当館の実物資料を交えながら紹介した。自然の中の不思議さ、自然と人間の関わり、自然の大切さ等を考える機会とした。	2,756
資料紹介展 「鉄道沿線～光と陰～」	23/3/1（火） ～ 4/10（日）	岐阜県の鉄道の歩みを、鉄道網の形成史を軸に、路線図・鉄道免許申請書等を紹介した。鉄道模型クラブによる車両模型やジオラマの展示も行なった。	6,597
マイミュージアムギャラリー	（P17参照）	「老大師墨跡・茶道具・床置展」をはじめ7回の展示会を実施した。	—

1 調査研究事業

人文分野では、県内の仏像や、遺物・遺跡、資料紹介展で紹介した鉄道関係の調査研究を行った。自然分野では、モニタリングサイト1000里地調査(植物、蝶類、哺乳類、鳥類)、ウシモツゴ保護に関する調査、白山の植物分布調査などを行った。

また、23年度特別展「濃尾震災120年」に関する調査について、人文・自然の両分野からのアプローチを行っている。

2 展示活動

特別展・資料紹介展などを下表のとおり実施した。

3 資料収集活動

人文分野では、各務原市の篠田氏より百万塔の寄贈等を受けた。自然分野では、動物の骨格標本、はく製標本を委託作成した。また、県内植物標本、県内動物標本などの資料の寄贈を受けた。

4 教育普及活動

学校との連携では、事前打合せを確実にし、団体入館の充実を図った。また学校への出前授業や、教員研修会等への講師派遣を多く行った。郷土学習室を会場とした土・日・祝日・夏休み相当日の、「わくわく体験コーナー」では、来館者が様々な体験を楽しむだけでなく、来館者と職員やサポーターとの交流の場となった。

また、岐阜県百年公園主催の行事に当館サポーターと当館が協力して参加するなど公園との連携が深まった。

新聞記事掲載の露出度や各情報誌への掲載数が昨年に比べて大幅に増加した。新たにYouTubeへの動画配信も充実した。

〔平成22年度特別展〕

1 展覧会名称

「川ーカワ・イイね！～流れがつくり出す自然～」

2 開催期間

平成22年7月2日（金）～8月31日（火）

3 趣旨

岐阜県は「水の国」とも呼ばれ、豊かな水に恵まれている。岐阜県には、太平洋側に木曽川・揖斐川・長良川・庄内川・矢作川が、日本海側に九頭竜川・荘川・神通川という大きな川が流れ、豊かな水はそれらの川によって海に運ばれる。

川をとりまく自然は、水の流れがつくり出している。水の流れは、大地を削り、一方で削られた土砂を堆積させて地形を形成してきた。川の中や川原では様々な生物が生活している。

水の流れは、時として洪水となって大きな破壊をもたらす。しかし、近年、適度な増水は河川の生物にとって健全な生息場所をつくり出していることがわかってきた。

本特別展では、岐阜県の川をとりまく自然を地形、地質、生物にわたり、広く紹介する。この特別展によって、自然の豊かな郷土に対する認識が深まることを願って行った。



県内8水系の川原石の展示

4 展示構成

(1) 流れがつくり出す川の姿

- ・自然河川には必ず早瀬、平瀬、瀬、淵が順にできる。
- ・上流域、中流域、下流域で川の姿がちがう。

(2) 流れの中で生活する生物たち

<植物>

- ・川の環境に適応した植物があることを紹介。
- ・川原には、山の森と違った森ができることを紹介。

<水生昆虫>

- ・流れに流されない体のつくりや生態を紹介。

<魚・甲殻類・爬虫類・鳥類・哺乳類>

- ・河川にすむ動物たちの紹介。

(3) 流れが削りだした岐阜県の地質

- ・県内8水系から採取した川原石を展示。

(4) 流れがつくり出した岐阜県の地形

（協力 JAXA（宇宙航空研究開発機構））

- ・宇宙から見た岐阜県の川
- ・断層（阿寺断層など）、砂丘（祖父江砂丘）、伏流水（伊自良川など）、天井川（牧田川など）など、岐阜県内の川がつくり出すさまざまな地形を紹介。



宇宙から見た岐阜県の展示

(5) 変動する流れ

- ・洪水は水害につながる恐ろしいものというイメージがあるが、洪水によって川の自然の多様性がつくられていることを紹介。

(6) 森と海をつなぐ流れ

- ・森がつくり出す土壌が雨水をゆっくり川に流すはたらきをしていることを紹介。
- ・川と海を行き来する魚やカニがいることや、本来海の魚で川に上ってきているものがあることを紹介。
- ・山の人工林化やダム建設が森ー川ー海のつながりを弱くしていることを紹介。

(7) 未来に伝えたい！流れがつくり出す自然

- ・博物館の自河自賛プロジェクトや県内の小中学校の児童生徒が行った水生生物や水質の調査結果と参加した子供たちの感想を紹介。

5 関連事業

- ・自然観察会「長良川の源流を訪ねて」

講師：当館学芸員 場所：郡上市高鷲町ひるがの高原

- ・自然観察会「魚の捕り方教えます ～ビオトープの魚調べ～」

講師：当館学芸員 場所：百年公園内

- ・自然観察会「夏の小川で魚捕り」

講師：当館学芸員 場所：関市市平賀 富岡小学校付近

- ・自然観察会「川原石を調べよう」

講師：当館学芸員 場所：関市 長良川河川敷

〔資料紹介展1〕

1 展覧会名称

「博物館で“お宝” みい～つけた！」

2 開催期間

平成22年4月10日（土）～5月16日（日）

3 趣旨

岐阜県博物館のリニューアル工事（外壁補修など）の完成を記念して、当館収蔵品の中から選りすぐった“お宝”を紹介した。今回初めて紹介する資料を含め、人文・自然両分野の資料50点余りを特別展示室において展示した。

主な展示資料は、春日神社（本巣市根尾）の能装束（国重要文化財）、荒川豊蔵（人間国宝）の茶碗、伴蒿蹊の「近世畸人伝」、アメジストなどの大型鉱物標本、カモノハシの剥製など。また、一部の人文資料については資料保護のため、会期中に入れ替えを行なった。

4 おもな展示資料

(1) 人文分野

国指定重要文化財を含む県内の優れた文化財を中心に展示した。春日神社能装束は、当館では久しぶりに展示するもので、公開にあたり共立女子大学の長崎巖教授に資料の取扱いを含め展示指導を依頼した。

- ① 紺地白鷺文繡狩衣（国重文）
- ② 茶海気狩衣（国重文）
- ③ 紅地牡丹唐草文黄緞狩（国指定文化財）
- ④ 白地草花文描絵角帽子（国重文）

①～④春日神社（本巣市根尾）蔵 安土桃山時代



紺地白鷺文繡狩衣

- ⑤ 近世畸人伝
伴蒿蹊 当館蔵 寛政2年（1790）
- ⑥ 孔雀図屏風（中津川市指定文化財）
三尾暁峰 個人蔵 江戸時代

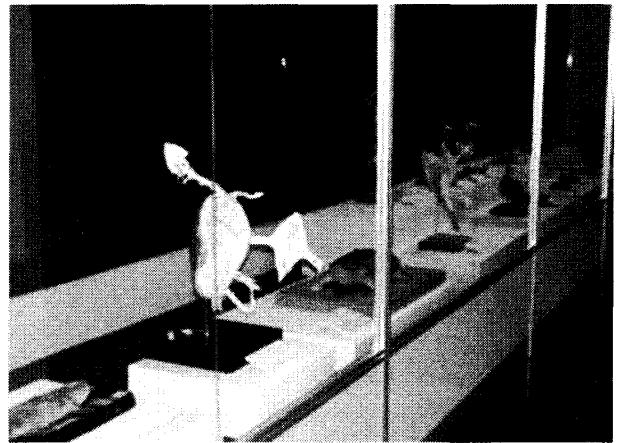
- ⑦ 岐阻路ノ駅河渡長柄川鵜飼船
溪斎英泉 当館蔵 天保6年（1835）頃
- ⑧ 別当法印所領安堵下知状（経聞坊文書）
当館蔵 康永元年（1342）
- ⑨ 丁子唐草文鐺（岐阜市重文）
個人蔵 江戸時代
- ⑩ 織部燭台（元和八年銘）
県立多治見工業高校蔵 元和8年（1622）
- ⑪ 志野茶碗
荒川豊蔵（人間国宝） 当館蔵
- ⑫ 白瓷大皿
塚本快示（人間国宝） 当館蔵

(2) 自然分野

新しく収蔵した資料を含め、これまで未公開だった資料を中心に展示した。

① 動物標本

- ・カモノハシ本剥製・頭骨（レプリカ）
- ・アカハラ全身骨格、カミツキガメ本剥製
- ・クロツグミ全身骨格、アカモズ全身骨格
- ・オオタカ半剥製・半骨格、タシギ全身骨格
- ・フルマカモメ半剥製・半骨格
- ・オカヨシガモ本剥製・全身骨格
- ・コゲラ本剥製、マミジロ本剥製（雌雄）
- ・アズマモグラ全身骨格、ヒミズ全身骨格
- ・ヒレンジャク本剥製



動物標本展示の様子

② 植物標本

- ・ケイリュウタチスボスミレ（レプリカ）
- ・センボンギク（レプリカ）、サツキ（レプリカ）

③ 鉱物・化石標本

- ・大型鉱物標本（アメジスト、魚眼石、方解石）
- ・石膏（緑、茶）、水晶（群晶）
- ・クラゲの化石（プレカンブリア紀）、エビの化石
- ・荘川恐竜の歯の化石（実物、レプリカ）
- ・アンモノイドの化石、ゴキブリの化石

〔資料紹介展2〕

1 展覧会名称

「川と海を旅する魚たち」

2 開催期間

平成22年5月29日（土）～7月19日（月・祝）

3 主催

岐阜県博物館

4 共催

水辺の教育メディア研究会、埼玉県立川の博物館、札幌市豊平川さけ科学館、佐賀県立宇宙科学館

5 協力

船の科学館、海と船の科学館ネットワーク、岐阜大学技術交流研究会、東京学芸大学環境教育実践施設、独立行政法人土木研究所自然共生研究センター、東京大学海洋研究所、日本エヌ・ユー・エス株式会社、マルハニチログループ

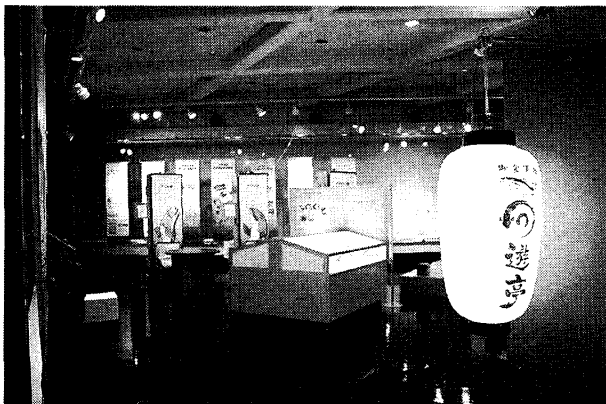
6 趣旨

一生の中で川と海をまたいで生活し、子孫を残す魚を回遊魚という。なかでも、サケ、アユ、ウナギは、古くから日本人が好んで食べてきた魚で、人々の生活と密接に関わってきたが、その生態は謎に包まれている。今回の展示では、回遊魚の代表として、サケ、アユ、ウナギに注目し、回遊魚の生活史や生態、最新情報、環境問題を紹介し、魚と環境・人とのかかわり・自然との恵みについて考えた。

7 展示構成

(1) 食卓に見る回遊魚 ～体のしくみと特徴～

川と海を旅する回遊魚の中から、日本人の食に関わりの深いサケ、ウナギ、アユを取り上げ、回遊魚の特徴や



展示風景の様子（1）

日本人の暮らしとの関わりについて紹介した。

(2) 回遊魚の冒険 ～サバイバルと成長～

サケ、ウナギ、アユの生存と成長を賭けた旅を追い、川や海的环境と生体の成長との関係を紹介した。

(3) 回遊魚とわたしたちのかかわり ～食と環境～

伝統的な漁法や食文化に見られる回遊魚への意識や共生の知恵を紹介し、来館者各自の気づきをメッセージとして展示した。

(4) 徹底比較！長良川鵜飼vs小瀬鵜飼

長良川鵜飼と小瀬鵜飼を比較し、ふるさと岐阜の鵜飼の魅力を紹介した。



展示風景の様子（2）

8 関連事業

(1) 世界でひとつだけのサケ缶をデザインしよう！

サケ缶の歴史を紹介し、サケ缶のラベルを作成した。

5月29日（土）

講師：三上戸美氏（乃村工藝社）、今井亜湖氏（岐阜大学）

(2) みんなでつくる川の世界～魚の気持ちにタッチ～

仮想現実（ミクスト・リアリティ）を体験し、模造紙に色紙などで魚が泳ぐ川の中の世界を作成した。

5月30日（日）

講師：今井亜湖氏（岐阜大学）、三上戸美氏（乃村工藝社）

(3) おいしく学ぶサケ缶のヒミツ

大正時代に考案されたサケ缶を使った料理を楽しみながら、缶詰生産の歴史や生産工程など缶詰の秘密を学んだ。

7月10日（土）

講師：マルハニチログループ職員

(4) ウロコ博士とウロコDEアート

魚のウロコについて学習し、鯛のウロコを使った貼り絵を作成した。

7月11日（日）

講師：吉富友恭氏（東京学芸大学）

〔岐阜県文化財保護センター発掘速報展特別企画〕

1 展覧会名称

「飛騨美濃発掘20年」

2 開催期間

平成22年9月18日（土）～11月14日（日）

3 趣旨

岐阜県文化財保護センターは、平成3年度に財団法人岐阜県文化財保護センターとして発足し、20周年を迎えた。今までに発掘調査を行った遺跡は150箇所を超え、県内各地域の歴史を解明する貴重な資料を数多く得てきた。そうした調査成果を振り返りながら、埋蔵文化財の大切さと文化財保護の必要性について紹介した。

尚、従来は岐阜県文化財保護センターの企画・予算により開催してきたが、今年度より博物館が主催することとなった。

4 展示構成

「発掘調査の意義について理解を深めていただく」というテーマを設定し、5つのコーナーで展示を構成した。

(1) 何故文化財を残すのか？

文化財のさまざまな価値について紹介した。高度な技能や美術的価値が認められるなど現代に通じる価値を有するものもある。しかし、全ての資料についていえることは、それらは皆、我々の祖先が生きた証であるということである。

（主な展示資料）東野遺跡出土台形石器・西田遺跡ほかの土偶・洞雲土遺跡出土資料・浦畑遺跡出土資料ほか



縄文時代の装いをうかがい知る土偶ほかの展示

(2) 開発と遺跡

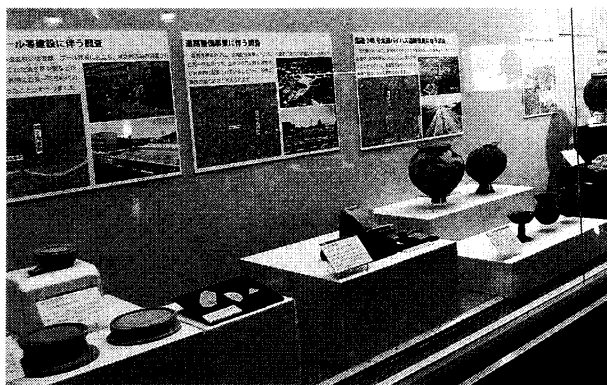
遺跡は埋まったままの状態ですることが望ましいが、開発などにより遺跡の消滅が避けられない場合には発掘調査を行う。紹介している遺跡がどのような開発行為に伴って行われたのか。現代の私たちの生活にかかわる施設と遺跡を関連させて紹介した。

（主な展示資料）ソフトピアジャパン関連資料・東海環状自動車道関連資料・丹生川ダム関連資料ほか

(3) 埋蔵文化財の特質

発掘調査は一種の破壊行為であり再現は不可能である。できる限り多くの情報を得、その情報を多くの人と共有するために行っている努力や工夫を紹介した。

（主な展示資料）南高野古墳出土資料・砂行遺跡の図面・柿田遺跡や勝更白山神社周辺遺跡出土資料ほか



調査地の現在の姿を紹介した展示

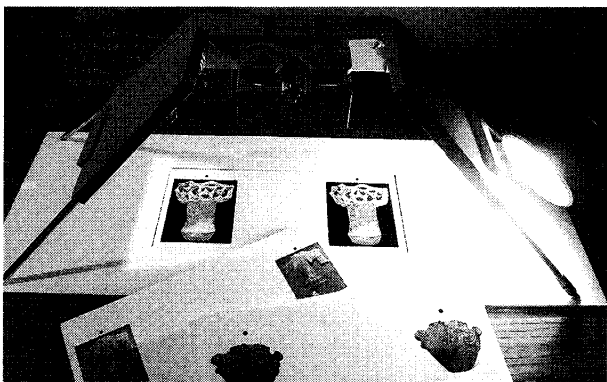
(4) 保存活用など

発掘調査により記録された情報は報告書などの形で残される。また、得られた情報を開発計画に反映させて遺跡の一部を保存することもある。そうした例を紹介した。

（主な展示資料）各遺跡の報告書・戸入村平遺跡出土縄文土器の図面・岩井戸岩陰遺跡出土資料ほか

(5) 体験コーナー

考古学データの整理方法も提示方法も、日々進歩しつつある。3次元データの持つ可能性を探った。



実体視により得られる情報量が増すことを体験する展示

5 関連事業

会期中の隔週土・日曜日には、岐阜県文化財保護センター職員と当館学芸員により、1日2回程度展示解説を行った。平日も解説員、学芸員がギャラリートークに心がけた。また、「まが玉をつくろう」という講座を2回行った。

来館者は大人が中心であったが、埋蔵文化財に対する関心が高く、県外からも多くの方が来館されたことがギャラリートークを通じてうかがわれた。

〔第31回日本自然科学写真協会写真展〕

1 展覧会名称

「自然を楽しむ科学の眼2010－2011」

2 開催期間

平成22年11月20日（土）～12月26日（日）

3 趣旨

日本自然科学写真協会（SSP）は、自然写真や科学写真を撮影している、プロやハイアマチュアの写真家が集まっている団体である。1978年の設立以来、自然と向き合うことの楽しさと感動を多くの方々に伝えたいと写真展を開催してきた。第31回目となる今回は、マクロからミクロまで自然・科学写真分野で技を極めた撮影技法のノウハウ等を活かし、動植物、水中、山岳、地形、風景、天体、顕微鏡写真など、多様な自然科学の写真を展示した。また、当協会の活動が評価され、今回の展示会から環境省の後援を得た。さらには、SSP写真協会の会員で、本展示会に出品されている常川氏に展示解説を依頼し、期間中に2回の解説を実施した。昆虫写真をはじめとする科学写真の撮影ノウハウを多くの来館者に解説いただき好評を得た。



展示会場の様子

4 展示構成

雄大な自然の姿や驚異の瞬間を捉えた素晴らしい126点の作品を、7つのコーナーに分類して展示した。どの作品も、周到な準備と長年蓄積されたノウハウを活かして撮影された写真ばかりである。

また写真作品に関連した当館の実物資料50点や科学写真の仕組みを学ぶ体験展示を用意し、自然をより身近に感じていただく工夫を凝らした。

(1) 顕微鏡・科学

肉眼では認識できない微細な自然現象を、偏光や干渉現象などの可視化技術を駆使して、鮮明に捉えた作品の数々。科学の眼が描き出した作品を展示した。「ビタミンC」（撮影：前田幸生）など12点

(2) 水中・水棲生物

陸上とは異なる撮影条件が要求される水中写真。水中に生きる生物を捕らえた作品を展示した。「カリフォルニアアシカの子供」（撮影：天明良恵）など18点

(3) 昆虫類

マクロレンズやストロボなどを駆使して、昆虫のさまざまな生態をクローズアップした作品を展示した。「ミツバチの給水」（撮影：鈴木格）など34点



常川氏による展示解説の様子

(4) 鳥類

飛翔する被写体を的確に、その一瞬を捕らえることは長年の感と技術が要求される。自然の中でいきいきと活動する鳥たちを捕らえた作品を展示した。「フクロウ帰巢」（撮影：水野紘一）など13点

(5) 哺乳類・両生爬虫類

哺乳類をはじめ、両生類や爬虫類の生態をできる限り自然に近い状態で撮影した作品を展示した。「ホンドギツネ」（撮影：八川慎一）など8点

(6) 植物・菌類

比較的動きの少ない植物であるが、植物が表現する色や形には、思わず見入ってしまうものがある。その姿を忠実に再現した作品を展示した。「蛍光反応によるゴンゲンゴケの同定」（撮影：小林侑）など13点

(7) 山岳・天体・自然風景

大自然がつくり出す景観は、まさに芸術である。その壮大な自然の姿が感じられる作品を展示した。「桜島の噴火」（撮影：節政博親）など28点



体験コーナーの様子

〔資料紹介展3〕

1 展覧会名称

「鉄道沿線～光と陰～」

2 開催期間

平成23年3月8日（火）～4月10日（日）

3 趣旨

所蔵品に県歴史資料館・県図書館からの借用資料を加えた鉄道関係資料で、半世紀以上にわたる県内鉄道網の形成史をひもとき、明治以降数回の鉄道ブームによる路線拡張期の「光」とモータリゼーション進展によって廃線が相次いだ「陰」の、県内鉄道史を振り返る展覧会。

日本列島の中央に位置する当県では、明治半ばの鉄道草創期から大阪・東京の東西大都市圏を結ぶ幹線鉄道が整備され、同時に、名古屋や京阪神間との中長距離都市間交通が発達した。私鉄路線はこれらの国鉄幹線と地域を結ぶ支線としての役割を担ってきた。一方、新路線敷設を目論みながらも果たせなかった未成線も数多い。こうした鉄道網の発展と、とくに近年顕著なその後退を、私鉄の沿線案内パンフレットや鉄道敷設免許申請書などからたどるとともに、ここ1年間の新聞スクラップで現代の話題としても取り上げた。

また、岐阜鉄道模型クラブの協力により、車両模型と大型ジオラマを展示、実際に走行させていただいた。

4 展示構成

展示室中央に大型ジオラマおよび旧名鉄600V岐阜線区の記録映像を上映する大ディスプレイを設置、ロビーにも関連展示を行い、展示室への導入と位置づけた。

(1) 鳥瞰図と沿線観光案内

大正末期から昭和初期に一世を風靡した吉田初三郎のいわゆる「初三郎式鳥瞰図」などの鳥瞰図と沿線案内を中心に鉄道省や県内の私鉄各社がつくった沿線案内を展



展示会場の様子

示した。いまはないさまざまな鉄道が走っていたことを視覚的にとらえてもらう試みである。

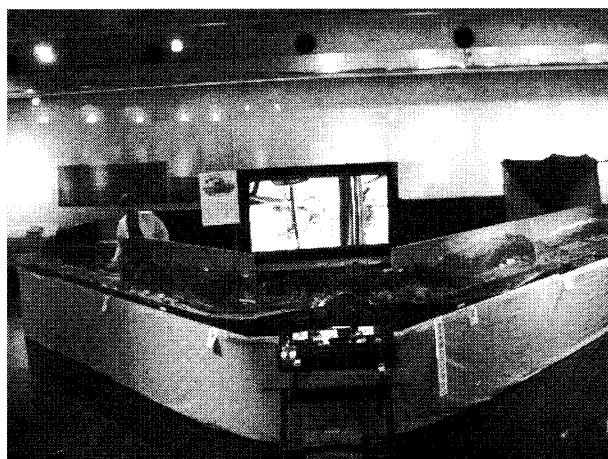
(2) 鉄道敷設免許申請書と鉄道会社株式資料

鉄道を敷設するために県を通じて国に提出された申請書を展示した。国立公文書館等で所蔵されている旧鉄道省文書以外で、各県に現存するこうした文書類は鉄道史研究でもあまり把握されておらず、公開の機会も少ない珍しい資料群といえる。

吸収合併や廃線により消滅した鉄道会社のほか、免許を下付されたにもかかわらず諸般の事情で建設に至らなかった会社についても紹介した。

(3) 車両模型とジオラマ

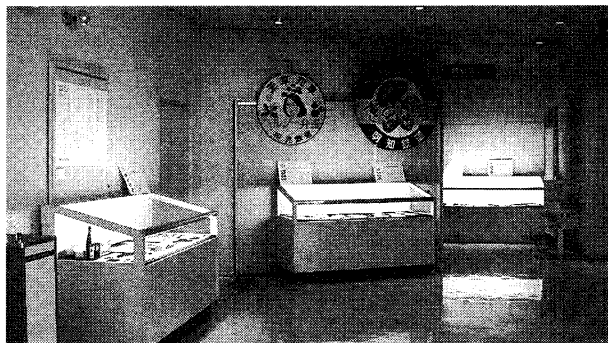
岐阜鉄道模型クラブによる展示である。過去・現在において、県内を走った車両を展示し、県内沿線を再現したジオラマでは、実際に模型を走行させた。



ジオラマの様子

(4) 鉄道グッズ（ロビー展示）

ロビー奥の展示室までに大型資料の露出展示およびケース内展示を行い、展示室に入りやすい雰囲気づくりを心がけた。県内鉄道会社の協力によるものである。



ロビー展示の様子

5 関連事業

会期中の週末を中心に岐阜鉄道模型クラブによる模型走行を実施し、同クラブ定例会に併せて、公開制作・メンテナンスを行った。

[マイミュージアムギャラリー]

1 運営の概要

県民（在住、在勤、ゆかりの人）が収集・所蔵しているコレクションや生涯学習の成果作品を募集し、一定期間、公開展示の場とする。マイミュージアムギャラリー企画運営委員会によって審議された内容を参考に作成した展示計画に従い、順次展示をする。出展者の募集は常時行っている。

2 平成22年度の展示状況

回	展示期間	出 展 内 容	出 展 者
1	4月 1日(木) ～ 5月 9日(日)	老大師墨跡・茶道具・床置展	森博重
2	5月23日(日) ～ 6月27日(日)	懐かしのビン	山田正利
3	7月11日(日) ～ 8月22日(日)	おもしろ木彫り ～切り絵・古布の人形とのコラボ展～	菅沼守 菅沼寿美子
4	9月 5日(日) ～ 10月11日(月祝)	日本とアラビアのレリーフ陶芸	新美隆利 河野ボシュナックレジック
5	10月17日(日) ～ 11月21日(日)	飛騨のわら細工	沼田富男
6	11月28日(日) ～ 1月10日(月祝)	世界遺産探訪の歩み ～写真・絵画・思い出の品～	岐阜県博物館 館友の会
7	2月22日(火) ～ 3月27日(日)	甦る古布の布絵展	布遊絵

3 展示記録「マイ・コレクション」の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。会場内で来場者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。平成22年度は7年度からの通番で、第117号から第123号まで発行した。

4 出展者による講座・実演等の開催

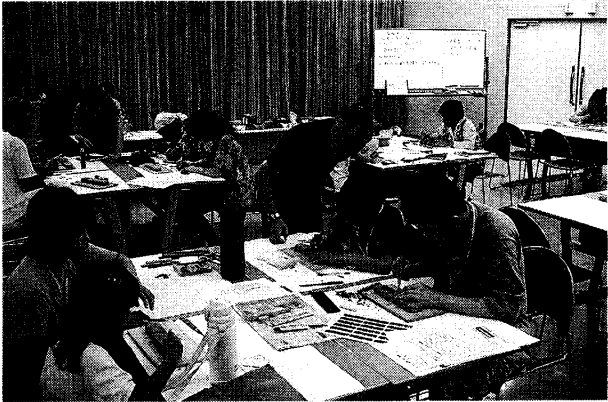
来場者と出展者、来場者同士の情報交流やふれあいの場として、また、体験を通して展示内容についての理解を深めたり、親しみを感じてもらったりするために、出展者が主催者となって、講座、実演等の催しものを開催している。

○第4回展示「日本とアラビアのレリーフ陶芸」

講座 「アートに挑戦 ザ・陶板！」

日時 9月12日（日）・20日（月祝）
各日10:00～11:30、13:00～14:30

講師 新美隆利氏 河野ボシュナックレジック氏
場所 講堂



講座「アートに挑戦 ザ・陶板！」の様子

本館では、陶芸に関わる講座が珍しいため、多くの参加者があった。新美氏が丁寧に一人一人指導され、参加者は夢中になって作業に取り組まれていた。焼成して完成した陶板は、郵送か来館での引き取りであるが、参加者は、完成を大変楽しみにされていた。制作したネームプレートの家や庭などに飾ると笑顔で話されていた。好評であったこの講座は、引き続き来年度も博物館の催しものとして位置づけられることとなった。

○第5回展示「飛騨のわら細工」

実演 「わら細工実演」

日時 10月17日（日）30日（土）31日（日）11月2日（火）3日（水祝）20日（土）21日（日）
各日10：00～12：00 13：00～15：00

出演 沼田富男氏
場所 マイミュージアムギャラリー



講座「わら細工実演」の様子

気さくで温かい人柄の沼田氏によって、実演時には多くの来場者が楽しい時間を過ごすことができた。わら細工を趣味でしておられる方が多数来館され、直接沼田氏から指導をいただき、満足して帰られる場面が多くあった。

講座 「わら馬をつくろう」

日時 10月31日（日） 13：30～15：00

講師 沼田富男氏

場所 講堂



講座「わら馬をつくろう」の様子

手軽にできる「わら馬」のわら細工を企画した。幅広い年代の参加者がおられ、熱心に取り組まれた。講堂にブルーシートを敷き、その上で講座を開くことで、和気あいあいと作業することができた。小さな子どもにも好評であった。



講座「古布でコースターをつくろう」の様子

○第7回展示「甦る古布の布絵展」

講座 「古布でコースターをつくろう」

日時 3月9日（水）13時30分～15時30分

講師 白木しづ糸氏

場所 講堂

第7回展示「甦る古布の布絵展」は、大変盛況であった。マイミュージアムギャラリーのみの入館者が、1日250人という日があるなど大変な人気であった。講座もすぐに定員に達し、キャンセル待ちの状態であった。古布でコースターを作ることが講座内容であったが、それ以外に猫の布絵を作ることが急遽企画し、参加者は大喜びであった。布絵を作りたいというニーズに応えることができた。今後、博物館の催しとして白木氏を講師に迎え、布絵づくりを企画していく方向である。

5 博物館同人としての登録

7名に同人登録証を発行した。23年度、新美氏が博物館の催しもので講座を開設することにつながった。

6 平成23年度の展覧申し込み

バードカービング、イラスト画、パッチワークの着物等、生涯学習の成果としての作品。また、中国翡翠の彫刻、おもちゃグッズ、そば猪口、書画、アジアの民芸品、三針時計、教科書、プロ野球サイン色紙、パチンコ版等、計14件の申し込みがあった。コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の来場者に楽しんでもらえそうな内容であった。

7 マイミュージアムギャラリー企画運営委員会の開催

日時 平成22年10月20日（金） 10時～11時30分

場所 本館会議室

【議題】

(1) 平成22年度の展示について

- ・実習を伴うものがありよかった。わら細工も実演や実習が多くありよかった。
- ・バランスよく、時期に合わせてやっている。身近なもののコレクション、身近な体験型が多くなってよい。
- ・体験教室や実演などは、来場者からも好評である。
- ・出展に関しては、バランスが大事。岐阜県に関する内容の展示こそ委員会としては大切にしていきたい。

(2) 平成23年度展示計画及び今後の課題について

- ・毎回必ず焼き物が入っていてもよいのかなと思う。岐阜の産物として陶器関係は入れていきたい。
- ・布の作品については、主婦に大変人気がある。
- ・バランスを考えて、時期にあったものや体験型、参加型があるようにしていきたい。地元出身に関わるものも大切にしていきたい。

○委員の構成

	氏 名	役 職
委員	浅野 裕司	前岐阜県博物館長
〃	岩田 仲雄	社会福祉法人万灯会 理事長
〃	内堀 實	岐阜県公民館連合会長
〃	國島 芳明	岐阜県市長会代表（高山市長）
〃	佐藤 武彦	岐阜県議会教育警察委員会委員長
〃	中川 満也	岐阜県町村会代表（垂井町長）
〃	蓮見 茂夫	岐阜県社会教育委員連絡協議会長
〃	武藤 茂子	岐阜県地域女性団体協議会代表
〃	吉田 康雄	関市教育長
〃	吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長
〃	若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

会長は吉田豊氏、副会長は若宮多門氏が就任。

（五十音順 敬称略）

〔調査研究・資料収集活動〕

ー人文部門ー

1 調査研究

<考古分野>

(1) 展示にかかわる調査研究

岐阜県文化財保護センター発掘速報展特別企画「飛騨美濃発掘20年」や、同センター資料紹介コーナー、常設展示にかかわる資料調査を、同センターの協力を得て行った。調査成果を反映した展示替えを行い、旧徳山村（現揖斐川町）出土縄文土器や大垣市荒尾南遺跡出土線刻絵画土器などを新たに常設展示に加えた。

(2) 館蔵資料にかかわる調査研究など

館蔵資料について、資料紹介を継続して行っているところであるが、今年度は美濃加茂市太田町西町採集の「美濃国」刻印須恵器について図化し、出土状況について聞き取り調査を行い、『岐阜県博物館調査研究報告』32号において紹介した。この資料は人文1展示室古代のコーナーで展示している。

また、県民とともに研究活動を行っている下呂石研究会では、今年度はメンバーが有している情報の調査・研究などが主な活動となった。関市板取や揖斐郡池田町で採集された資料について調査した。その中で、池田町の資料中に認められたサヌカイト製ナイフ形石器3点などについて図化し、上記報告書で紹介した。池田町における旧石器時代資料は従来知られておらず、初めての報告となる。併せて美濃加茂市鷹之巣採集の下呂石製ナイフ形石器についても紹介した。

他にも、岐阜県及び東海の考古資料について調査研究を行い、随時発表している。

<歴史分野>

(1) 企画展などにかかわる調査研究

平成22年度特別展「濃濃震災120年」に関連し、年度末を中心として、いくつかの調査研究を県内外にわたり開始し、次年度の特別展実施への調査への足がかりとした。

(2) 寄贈資料・館蔵資料にかかわる調査研究

寄贈された資料の整理と調査研究を進めている。とりわけ今年度は、館所蔵資料の悉皆調査作業に全力を傾注した。また、6回にわたる公開講座・出前講座の実施等にもとない、館蔵の古文書や県内古文献等の調査研究を進めた。とりわけ地域に伝えられ、地域の人々の文化財保護活動によって発見された文書等について展示・解説することで、文化財愛護活動の啓発に努めた。今後もこうした活動の掘り起こしに努め、今後の展示・調査活動に資することができるよう心がけたい。

<民俗分野>

(1) 資料紹介展にかかわる調査研究

岐阜県内の鉄道資料を取り上げた資料紹介展を企画・

開催した。鉄道資料については、平成17年（2005）に特別展「線路はつづくよ」で網羅的に扱われていることもあり、今回は当館所蔵品だけでなく、岐阜県歴史資料館所蔵の行政文書や、岐阜県図書館所蔵のパンフレットのほか、県内鉄道会社の鉄道グッズを借用して、新規資料の発掘と前回展以降の県内鉄道事情の紹介に努めた。とくに県歴史資料館の鉄道敷設免許申請書については、これまで公開されることが少なかった資料群である。また、県図書館からは、近年、所在の確認された吉田初三郎原面を、額装修理後、初披露することができた。

なお、岐阜鉄道模型クラブの全面的なご協力により、展示室内に県内路線をイメージした大がかりなジオラマを設置、会員作の車両模型を走らせ、子どもたちに大好評であった。

(2) 寄贈資料にかかわる調査研究

本年も多数の寄贈申し込みをいただき、民具類の受け取りと、それに伴う聞き取りを行った。

<美術工芸分野>

(1) 岐阜県の宗教彫刻にかかわる調査研究

平成22年度も、宗教彫刻に関する調査への参加依頼等があり、現地に赴いて調査に携わった。中には文化庁が関与したものもある。専門家の目が届いていない文化財が、岐阜県にはまだ多く遺されているようである。また、所蔵者だけでは文化財の保存を全うすることが難しい現実にも直面した。今後も県内の文化財の状況を把握し、調査研究や文化財保護活動に資するよう努めたい。

また、外部機関からの依頼によって、宗教彫刻に関する講座・講話を3件引き受けた。それぞれ求められたテーマについて調査研究を行い、その成果を講座・講話に反映した。講師依頼の受諾は、社会貢献と同時に調査研究をも積み重ねることとなり、自他ともに有益なことである。

今年度の特色としては、仏教彫刻の寄託を積極的に受け入れたことが挙げられる。当館で新たに預かることとなった仏像は7件11軀で、例年になく多い。この中には国重要文化財や岐阜県重要文化財も含まれている。これらの仏像についても調査研究を進め、展示公開を行っている。

(2) 岐阜県のやきものにかかわる調査研究

当館は、平成20年度に資料紹介展「岐阜県のやきもの」を開催した。この展覧会の成果を継承し、さらに調査研究を重ね、平成21年度に研究報告書「岐阜県のやきもの―資料紹介展「岐阜県のやきもの」出品作品を中心として―」（上）を執筆し、『岐阜県博物館調査研究報告』第31号に掲載した。

本年度も研究を継続し、同報告書の下篇を執筆し、同誌第32号に掲載した。上篇に引き続き、出品作品について個別に解説をし、データ・写真とともに紹介した。そして、これを中心としながら岐阜県のやきものについて概観した。

2 資料数一覧

(平成23年3月31日現在)

分 野	館 蔵				借 用	寄 託	総 計
	実 物	複 製	自作・他	館蔵計（内寄贈数）			
考 古	5,595	164	51	5,810（ 5,339）	354	656	6,821
歴 史	4,323	34	122	4,479（ 4,173）	48	178	4,705
民 俗	9,347	1	0	9,348（ 7,059）	239	114	9,720
美術工芸	947	21	0	968（ 519）	94	792	1,854
計	20,212	220	173	20,605（17,090）	735	1,740	23,100

3 寄贈資料一覧（平成23年3月31日現在）

資 料 名	点 数
百万塔	1
合 計	1

4 購入資料一覧（平成23年3月31日現在）

購 入 資 料	点 数
なし	0



百万塔

ー自然部門ー

1 調査研究

<動物分野>

(1) モニタリングサイト1000里地調査（動物）

環境省のモニタリング1000里地調査に参加し、百年公園の中・大型哺乳類、鳥類、チョウ、植物について調査し、延べ394名が調査に参加した。中・大型哺乳類は延べ517日調査し、529枚の写真を撮影した。今年度は、11種類の哺乳類が撮影され、公園内でイノシシを初めて確認した。鳥類は繁殖期と越冬期にそれぞれ6回調査し、繁殖期に29種227個体、越冬期に24種152個体の鳥類を確認した。チョウは4月から11月上旬にかけて15回調査し、44種846個体のチョウ類を確認した。公園内でナガサキアゲハを初めて確認した。これらの調査結果は「百年公園の自然を調べよう（調査結果報告会）」で発表した。

調査活動の様子を（財）日本自然保護協会主催の市民調査全国大会で発表した。



百年公園に現れたイノシシ

(2) 骨格標本の作製 ダチョウ組の活動

4月から27回、延べ144人が活動に参加し、キツネ、イタチ、スナメリ、モグラ類の毛皮や骨格標本を作製した。

2月27日、なにわホネホネ団、アクア・トト岐阜、Ho-netとともに「ホネホネ合宿 I N 岐阜」を開催した。

(3) 「ウシモツゴを守る会」での調査・保全活動

当館では、県絶滅危惧種Ⅰ類のウシモツゴの保全の取り組みを、2005年から地元の保護団体や県河川環境研究所などと「ウシモツゴを守る会」を結成し活動している。

今年度は、ウシモツゴの飼育増殖と館内で展示して普及啓発を行う一方、ウシモツゴについて学習している小学校への出前授業やビオトープの造成に協力した。

(4) 外部機関と連携した特別展の資料収集

平成22年度特別展「川ーカワ・イイねー ～流れがつくり出す自然～」に向けて、外部助成事業「自河自賛プロジェクト」において、県民と協働して調査や資料収集を行った。また、県内の小中学校15校でカワゲラウォッチング等の出前授業を行った。

<植物分野>

(1) モニタリングサイト1000里地調査（植物相）

百年公園で植物相調査をはじめて2年目。毎月第3水曜日の「里山ウォッチング」時に参加者とともにいった。毎回20～30名の参加者があり、花・果実が確認された植物（イネ科・カヤツリグサ科・シダを除く）は、2年間の調査で合計269種、本年度は新たに45種であった。

(2) 白山植物分布調査

岐阜県植物誌調査会と高山植物調査をはじめて6年目である。本年度は白山の亜高山帯と高山帯の植物分布調査を行った。本県で初確認となるハクサンサイコのほか、232種を標本として採取した。



ハクサンタイゲキ

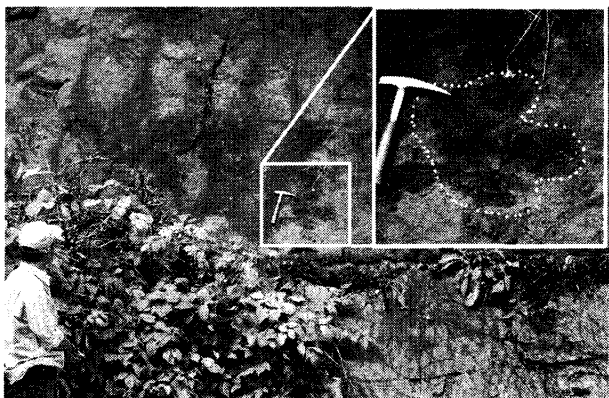
<地学分野>

(1) 濃尾震災に関する調査

平成23年度特別展「濃尾震災120年」に向けて、根尾谷断層およびその地震被害について調査を行った。同特別展は、人文分野と自然分野が共同で開催する特別展であり、自然科学の観点から濃尾地震をはじめ、地震に関するさまざまな情報を収集した。

(2) 県内化石産地の調査

平成24年度特別展に向けて、県内の化石産地の調査を行った。白川村では当館の展示物（足跡化石）の現地露頭を調査し、現状を確認した。



恐竜の足跡化石（大野郡 白川村 大白川上流）

2 資料数一覧

(平成23年3月31日現在)

分野	館 蔵				借 用	寄 託	総 計
	実 物	複 製	自作・その他	館蔵計 (内寄贈数)			
動 物	34,482	21	53	34,556 (19,135)	0	0	34,556
植 物	24,114	78	795	24,987 (18,072)	0	0	24,987
岩石鉱物	2,095	3	63	2,161 (389)	2	0	2,163
化 石	2,372	77	19	2,468 (941)	29	29	2,526
そ の 他	59	2	60	121 (14)	0	0	121
計	63,122	181	990	64,293 (38,551)	31	29	64,353

3 寄贈資料一覧

(平成23年3月31日現在)

資 料 名	点 数	資 料 名	点 数	資 料 名	点 数
昆虫標本	4,182	魚類標本	49	哺乳類標本	19
鳥類標本	57	化石類標本	4箱	岩石標本	2
偏光顕微鏡	0				

4 寄託資料一覧

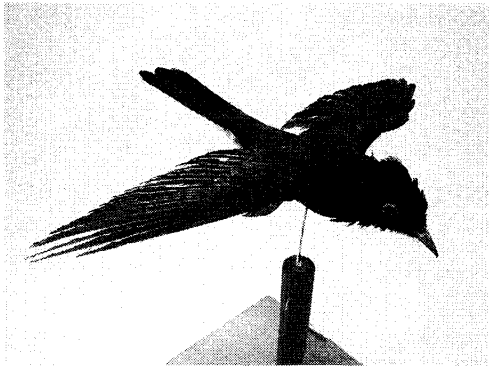
(平成23年3月31日現在)

資 料 名	点 数
アンモナイト化石標本	2

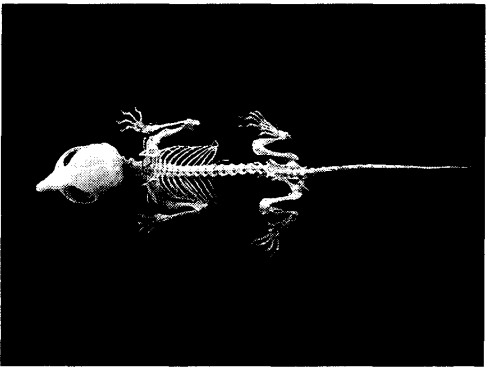
5 購入・委託作成資料一覧

(平成23年3月31日現在)

資 料 名	点 数	購 入 先	資 料 名	点 数	購 入 先
鳥獣標本	11	(有)東京内田科学社	断層剥取標本	1	(株)スタジオ33
立体震源分布図模型	1	(株)乃村工藝社			



サンコウチョウ



ヤマネ骨格



アンモナイト



断層剥取資料

—マイ・ミュージアム部門—

マイ・ミュージアム棟が開設された平成7年頃はマルチメディアが珍しい時代であったが、現在は一般のパソコン上で動画を編集することさえ特別ではなくなり、マルチメディアの普及や啓発を継続する意義は薄れてきた。

しかし、博物館事業において情報通信機器を活用する必要性が失われた訳ではなく、今年度も、情報を最大限発信できるようにするための基盤整備に重点を置いて事業を推進した。

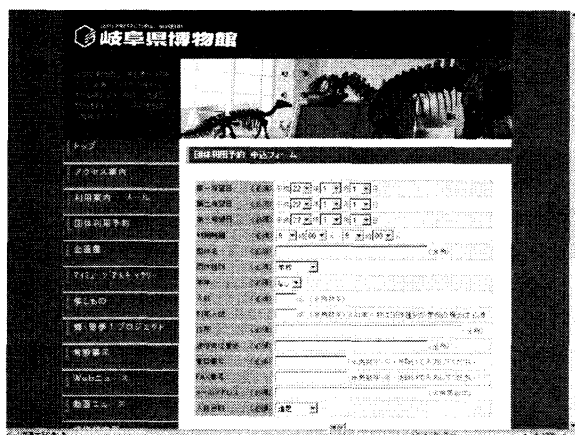
1 岐阜県博物館ホームページの運用

インターネットが普及した今日、ホームページの充実や活用は非常に重要な位置を占める。そのような認識から、当館では平成9年9月の「岐阜県博物館ホームページ」開設以後、大規模リニューアルや追加改修を重ね、機能の充実に努めてきた。そして、デジタル資料のダウンロード機能やWEBニュース配信機能等を活用し、利用者に対する情報提供を拡充してきた。

その後、WEBサーバの更新が困難になったことから、平成22年4月、共用型レンタルサーバを利用した運用に移行した。そのため、今年度の課題は、職員が登録作業に慣れ、それまで実現してきた機能の喪失や低下を最小限に食い止めるように努めることであった。幸い職員の習熟は早く、従来よりは少し手間を要することとなったものの、更新を頻繁に行うことができるようになった。

なお、今回の移行に伴い、岐阜県博物館ホームページは新しいURL (<http://www.gifu-kenpaku.jp/>) で運用を開始したが、しばらくの間、検索すると古いURLがヒットして利用者に不便をおかけする状態が続いた。しかし、技術的な検討の結果、この問題も解決し、今では新しいURLがふつうにヒットするようになった。

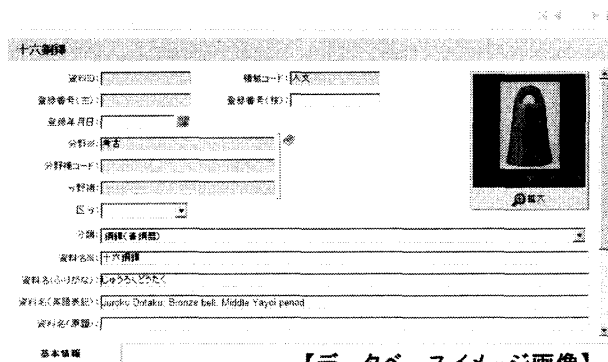
以上、今年度は新しいホームページの運用が軌道に乗った一年であった。



2 収蔵資料データベースの移行

当館に収蔵されている資料に関する情報の多くは電子化され、ホームページ公開にむけた膨大な準備を地道にすすめてきたところである。しかし、ホームページと同様の事情により、専用サーバを館内で維持することが困難となったことから、21年度末、全国の博物館や美術館でサーバを共有するサービス（SaaS）に既存のデータを移行する作業を実施した。そして今年度、当館とサービス提供業者の双方でデータや動作の最終点検をすすめ、新しい環境でデータベースを利用することが可能になった。したがって、今後は職員が早く操作に慣れ、当館用にカスタマイズされた従来のデータベースに比べて少し不便な面があるという制約を克服しつつ、新しい環境における収蔵資料情報の管理業務を軌道に乗せることが最大の課題である。

また、現物実査の成果を登録し、データベースの精緻化をはかることも、重要な課題である。



【データベースイメージ画像】

3 ハイビジョンホールの活用

ハイビジョンホールでは、休日や祝祭日に、特別展等に関連するDVD作品の上映を行った。また、外部団体の見学や各種講演会・講習会・イベントなどの会場として利用を図った。

〔教育普及活動〕

1 概要

近年、博物館をはじめとする教育文化施設は厳しい運営状況の中、その存在意義が問われており、当館では、平成20年度より将来構想委員会を設置し、長期的視野から県立総合博物館としての役割とあるべき未来像を明確にし歩みはじめてきた。

従来、博物館における最大の教育普及活動は展示であったが、近年、生涯学習の充実や体験活動の重視といった社会の要請、また、将来構想委員会で明らかにした当館の役割、「岐阜県民が実物や実体験を通して、郷土の価値を発見できるようにする。」から、展示はもとよりそれ以外の教育普及活動の充実を重点課題とした。

当館の入館者は、子どもから高齢者まで、団体は幼稚園から大学までの学校団体、子ども会やスポーツ少年団から老人会までと、幅広い層に利用されている。そのため、それぞれの入館者に充実した体験や学習の場を提供できるように、プログラムの改善や開発を行ってきた。また、団体利用においては、事前打ち合わせの充実を図った。具体的には、当館利用の目的や要望を聞き、その目的が十分達成できるような活動内容の紹介や準備、当日の活動のサポートを行った。

一方、本年度の主な事業としては、特別展（1回）、資料紹介展（4回）、第31回日本自然科学写真協会写真展（1回）、マイミュージアムギャラリーの展示（7回）のほか、年間78回の催しものを実施し、総事業数は91回を数えた。

2 教育活動

(1) 催しもの

催しものは、企画展関連事業（8回）、カルチャー講座（17回）、たのしい博物館（28回）、ギャラリー関連事業（19回）、特別行事（2回）、博物館講座（4回）の計78回であった。

企画展関連事業の「川原の石を調べよう」は、盛夏の野外観察活動であったが、実物・実体験を通した学びはたいへん好評で大盛況であった。

カルチャー講座では、「古文書入門」、「里山ウォッチング」、「百年公園の自然調査報告会」など、専門的な内容に踏み込んだ講座を開設したり、日本自然保護協会の「モニタリング1000里地調査」を実施したりした。回を重ねるごとに参加者が増加し、深くじっくり学習できるスタイルに満足していたようであった。

「たのしい博物館」では、「家族で春の里山ウォッチング」など家族参加型の催しものに多くの家族が参加し、目にした植物や生き物について親子で教え合うなど、家族で楽しそうに活動する姿が見られた。

特別行事の「春のグリーンアドベンチャー」や「七草がゆを食べよう」は恒例の催しものとして位置付き、多くのリピーターが参加した。

(2) 入館者対応

毎週土曜日・日曜日と祝日の午後には、「わくわく体験コーナー」を開設し、体験活動を通して、職員が来館者と直接触れ合えるようにした。リピーターが「わくわく体験コーナーを目的に来ました。」と職員に親しげに話をするなど、来館者と職員の距離を縮めることができた。

学校などの団体に対しては、下見を含めて事前の打ち合わせを入念に行い、活動の目的によって活動内容の提案やアドバイスなどを行った。また、サポーターの協力を得ながら、団体の多様な要望に応えられるような学習活動を工夫したことで、子どもたちが生き生きと活動する姿が見られた。

(3) 学校、福祉施設などの活用

団体利用は、161団体で、幼稚園・保育園（16）、小学校（92）、中学校（12）、高校（7）、大学（3）、福祉施設（9）、その他（22）であった。地域別の利用状況は、下記ようになる。

美濃地区	37.3%	岐阜地区	28.6%
愛知県	16.8%	加茂地区	9.9%
その他	7.4%		

美濃地区は関市が圧倒的に多く、美濃市・郡上市の利用は少ない。学年別では、幼稚園・保育園と小学校低学年が多く、高学年以上の利用は少ない。福祉施設の利用が今年度から多くなり、利用団体からは好評を得た。

(4) 研修会などの活用

学校関係を中心にして、20団体であった。

(5) 出前授業・講師派遣などの活用

出前授業の実施回数は22回（小学校20回、大学2回）であった。

講師に招聘されたのは19回であった。招聘先としては各種団体が中心であった。

職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。

3 広報活動

来館者の増加と館の動向や情報を広く知らしめるために、昨年度同様に以下のように広報活動の充実を図った。

- ・近隣のショッピングモールなどポスター・チラシの掲載・布置の依頼を積極的に行った
- ・新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミに対して、記者との直接的な情報交流、フリーペーパー掲載の開拓など、情報提供を積極的に行った。

4 博物館実習生指導

7月26日（月）から7月30日（金）までの5日間、岐阜聖徳学園大学（3名）・岐阜女子大学（1名）・岐阜大学（7名）・三重大学（1名）・富山大学（1名）・静岡大学（3名）・筑波大学（1名）・愛知淑徳大学（2名）の8大学から19名の学生を受け入れ、実習生指導を学芸部職員全員で行った。共通実習と選択分野別実習により、実習生が充実した活動を行うことができるよう工夫した。

5 資料の貸し出し

分野	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
人 文	サントリー美術館、(株)NHKプロモーション	紺地白鷺文繍狩衣	平成22年 4月23日	平成22年 8月 4日	1
	関鍛冶伝承館	刀 銘 濃州清水住寿命 他	平成22年 5月28日	平成22年 6月25日	4
	白山比咩神社	白山神社 能狂言本（画像）	平成22年 6月 1日	平成22年 6月 1日	1
	羽島市立羽島中学校	土偶（レプリカ）	平成22年 6月 8日	平成22年 6月11日	1
	都上市立三城小学校	火おこし器	平成22年 6月12日	平成22年 7月 4日	4
	日坂公民館	日坂の面（画像）	平成22年 7月26日	平成22年 7月26日	21
	(株)グローバルプラネット	紺地白鷺文繍狩衣（画像）	平成22年 8月27日	平成22年 8月27日	1
	国立能楽堂	般若	平成22年 9月 3日	平成22年12月15日	1
	中津川市立加子母小学校	洗濯板（体験用）	平成22年10月 9日	平成22年10月22日	6
	宗教法人 臨川寺	菩薩坐像 他	平成22年10月22日	平成22年11月15日	3
	東あい子	文楽人形「お染」	平成22年10月23日	平成22年10月25日	1
	(財)土岐市埋蔵文化財センター	志野織部茶碗 他	平成22年12月10日	平成22年 2月28日	4
	(株)学研パブリッシング	釈迦三尊像（画像）	平成22年12月28日	平成23年 2月 8日	1
	宗教法人 済法寺	十一面観音菩薩立像（レプリカ） 他	平成23年 1月24日	平成23年 4月30日	5
	(株)学研パブリッシング	刀 銘 兼元（画像）	平成23年 3月25日	平成23年 3月25日	1
	岐阜市立長森南中学校	動物剥製標本など	平成22年 4月11日	平成22年 4月24日	20
	各務原市立桜丘中学校	動物骨格標本など	平成22年 4月17日	平成22年 4月30日	2
	岐阜市立陽南中学校	動物骨格標本など	平成22年 4月18日	平成22年 5月 2日	10
	岐阜県図書館	魚類剥製標本など	平成22年 4月20日	平成22年 6月16日	17
	(財)リバーフロント整備センター	オウムガイ化石など（映像）	平成22年 4月26日	平成22年 6月26日	1
	NPO法人生態研究センター	鳥類剥製標本	平成22年 4月30日	平成22年 5月 7日	42
	関市立旭ヶ丘中学校	頭骨標本	平成22年 5月 7日	平成22年 5月 9日	14
	羽島市立中島中学校	動物頭骨標本	平成22年 5月30日	平成22年 6月27日	14
	河川環境楽園自然発見館	鳥類剥製標本	平成22年 6月 4日	平成22年 6月 8日	6
自 然	南山国際高等学校	化石・シリコン型	平成22年 6月 4日	平成22年 6月13日	50
	岐阜市立梅林中学校	昆虫標本箱	平成22年 6月 6日	平成22年 6月13日	7
	関ヶ原町立関ヶ原中学校	脊椎動物骨格標本	平成22年 6月12日	平成22年 6月20日	5
	(株)テレビ大阪東京支社	フクロウ骨格（画像）	平成22年 7月 1日	平成22年 6月30日	1
	弥富氏歴史博物館	動物剥製標本	平成22年 7月14日	平成22年 9月10日	17
	日本最古の石博物館	化石標本	平成22年 7月20日	平成22年 7月21日	50
	岐阜市立藍川中学校	化石・シリコン型	平成22年 8月 3日	平成22年 8月 6日	45
	(株)東海テレビ	恐竜化石（画像）	平成22年 8月 4日	平成22年 8月 4日	1
	(株)トップシーン	オオサンショウウ（画像）	平成22年 8月24日	平成22年 9月24日	1
	エコミュージアム関ヶ原	タカの剥製	平成22年 8月25日	平成23年 1月15日	6
	羽島市立竹鼻中学校	哺乳類の頭骨	平成22年 8月29日	平成22年 9月 5日	14
	県立岐山高等学校	化石・シリコン型	平成22年 8月31日	平成22年 9月 3日	30
	県立城北高等学校	化石・シリコン型	平成22年 8月31日	平成22年 9月17日	89
	(株)サイエンスワークス	フクロウ（画像）	平成22年 9月17日	平成22年10月 1日	3
	岐阜県先端科学技術体験センター	カンパ限石	平成22年 9月18日	平成22年12月21日	1
	一宮市博物館	動物、岩石標本	平成22年 9月27日	平成22年12月 3日	25
	(財)日本モンキーセンター	ツキノワグマ剥製標本	平成22年10月 1日	平成23年 3月10日	1
	高山陣屋管理事務所	ムササビ・ライチョウ剥製	平成22年10月 4日	平成22年12月 6日	2
	県立岐山高等学校	化石・シリコン型	平成22年10月13日	平成22年10月18日	40
	関市立板取小学校	化石・シリコン型	平成22年11月 4日	平成22年11月12日	36
	鏡島公民館クラブサークルふるさとを語る会	チョウセンイタチ、ホンドイタチ剥製	平成22年11月 5日	平成22年11月 8日	2
	各務原市八木山小学校	野鳥の剥製	平成22年11月13日	平成22年11月13日	13
	瑞浪市立瑞浪小学校	長良川の安山岩レキ	平成22年11月14日	平成22年11月28日	10
	岐阜女子大学文化創造学部	化石・シリコン型	平成22年11月19日	平成22年12月 5日	48
	笠松町歴史民俗資料館	ウサギの剥製	平成22年12月24日	平成23年 2月13日	3
	岐阜県先端科学技術体験センター	恐竜化石（レプリカ）	平成22年12月25日	平成22年12月26日	2
	岐阜県先端科学技術体験センター	化石標本 他	平成23年 1月13日	平成23年 2月 8日	55
	ミュージアム・パーク茨城県自然博物館	美濃限石（実物）・笠松限石（レプリカ）	平成23年 2月 7日	平成23年 6月30日	2
	南山国際高等学校	化石・シリコン型	平成23年 2月19日	平成23年 2月26日	60
	(株)トップシーン	脊椎動物骨格標本（画像）	平成23年 3月 7日	平成23年 3月 7日	5
	岐阜大学教育学部	化石標本	平成23年 3月12日	平成23年 3月26日	15
	岐阜県環境衛生部環境生活政策課	アライグマ他（画像）	平成23年 3月18日	平成23年 3月18日	8
	揖斐川町立春日中学校	化石・シリコン型	平成23年 3月18日	平成23年 3月24日	36
	びあ株式会社	アロサウルス他（画像）	平成23年 3月18日	平成24年 3月17日	4
	河川環境楽園自然発見館	ヌートリア剥製標本	平成23年 3月20日	平成23年 3月20日	2
	宮野明彦	アカマエヅバ成虫標本	平成23年 3月20日	平成23年 5月31日	1
	(株)東京書籍	外来生物及び館内自然展示室展示風景（画像）	平成24年 4月 1日	平成28年 3月31日	8
				合 計	879

6 図書資料（平成23年3月31日現在）

	図 書 資 料 数	備 考
一 般 資 料	19,425	含 刀剣文庫
郷 土 資 料	5,428	
児 童 書	1,425	
博 物 館 資 料	4,912	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	31,190	

6 刊行物の発行

名 称	発行年月日	判、頁	部 数	備 考
岐阜県博物館報第33号	22. 4. 1	A 4 35頁	800	
平成23年度岐阜県博物館催しもの案内（掲示用）	23. 3.31	B 2	2,500	
平成23年度岐阜県博物館催しもの案内（携帯用）	23. 3.31	A 4 4ツ折	47,500	
岐阜県博物館調査研究報告第31号	23. 3.31	A 4 41頁	700	
博物館ガイド	23. 3.29	A 4 4ツ折	50,000	
花押スタンプカード	23. 3.29	A 4	24,000	
【特別展等のポスター・リーフレット】				
川ーカワ・イイね！ ～流れがつくり出す自然～	22. 7. 2	B 2	2,800	
川ーカワ・イイね！ ～流れがつくり出す自然～	22. 7. 2	A 4 両面	95,000	
川ーカワ・イイね！ ～流れがつくり出す自然～	22. 7. 2	A 4 22頁		
【資料紹介展・特別企画のポスター・リーフレット】				
川と海を旅する魚たち	22. 5.29	B 2	800	
川と海を旅する魚たち	22. 5.29	A 4 両面	20,000	
川と海を旅する魚たち	22. 5.29	B 6 8頁		
飛騨美濃発掘展	22. 9.18	B 2	800	
飛騨美濃発掘展	22. 9.18	A 4 両面	20,000	
第31回日本自然科学写真協会写真展 自然を楽しむ科学の眼2010ー2011	22.11.20	B 2	800	
第31回日本自然科学写真協会写真展 自然を楽しむ科学の眼2010ー2011	22.11.20	A 4	20,000	
鉄道沿線～光と陰～	23. 3. 8	B 2	800	
鉄道沿線～光と陰～	23. 3. 8	A 4 両面	20,000	
【マイ・ミュージアム刊行物】				
マイ・コレクション第117号	22. 4. 1	A 4 両面	1,000	
マイ・コレクション第118号	22. 5.23	A 4 両面	1,000	
マイ・コレクション第119号	22. 7.11	A 4 両面	1,000	
マイ・コレクション第120号	22. 9. 5	A 4 両面	1,000	
マイ・コレクション第121号	22.10.17	A 4 両面	1,000	
マイ・コレクション第122号	22.11.28	A 4 両面	1,000	
マイ・コレクション第123号	23. 2.22	A 4 両面	1,000	
マイミュージアムギャラリー	23. 3. 7	B 2	1,000	
マイミュージアムギャラリー	23. 3. 7	A 4	10,000	

7 幼稚園・学校・福祉施設等の利用状況

※来館人数は引率者を含む

月・日	園・学校など	学 年	来館人数	利用時間	主 な 活 動 内 容
4/17	関市・警察学校初任科生研修		90	3	マイミュージアムギャラリー・自然・人文展示室解説
4/21	岐阜市・岐阜本巣特別支援学校	高等部2	41	1.5	恐竜解説、自由見学
4/23	関市・関保育園	年長	35	1	恐竜解説、自由見学
4/27	関市・桜ヶ丘小	2	74	2	自然展示ビンゴ、春みつけビンゴ
4/28	岐阜市・三輪南小	5	100	1.5	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
4/28	岐阜市・三輪北小	5,6	55	1.5	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ、体験学習（水田・遺跡）
4/30	一宮市（愛知）・小信中島小	3	108	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
5/ 7	一宮市（愛知）・一宮東養護	中等部	122	1.5	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
5/12	一宮市（愛知）・大徳小	3	88	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
5/12	関市・倉知小	1	89	1	春みつけビンゴ
5/12	関市・金竜小	1	119	1	春みつけビンゴ
5/13	小牧市（愛知）・小木小	5	55	1	自然展示ビンゴ
5/14	関市・桜ヶ丘小	1	80	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
5/14	関市・倉知小	2	91	1	春みつけビンゴ
5/18	一宮市（愛知）・起小	4	111	3	春みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
5/18	あま市（愛知）・伊福小	1,2	161	1	恐竜解説、自由見学
5/18	関市・小金田保育園	全園児	145	1.5	自由見学
5/19	稲沢市（愛知）・稲沢北小	3	57	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
5/19	岐阜市・岐北中	1	262	2.5	オリエンテーリング
5/21	関市・武儀西小	3	7	4	グリーンアドベンチャー、体験学習（昆虫）、自然展示ビンゴ
5/21	関市・武儀東小	3	13	4	グリーンアドベンチャー、体験学習（昆虫）、自然展示ビンゴ
5/22	各務原市・太平町2丁目子ども会	1～6	29	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（化石クリーニング）
5/25	各務原市・那加幼稚園	年長	67	1	自由見学
5/25	関市・安校小	3	82	4.5	グリーンアドベンチャー、体験学習（昆虫）、自然展示ビンゴ
5/26	関市・金竜小	3	152	3.5	里山オリエンテーリング
5/28	美濃加茂市・加茂農林高校	2	38	2	体験学習（里山の森）
5/28	関市・寺尾小	1～4	13	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
5/29	関市・関市教育委員会文化課	一般	35	2	俳句づくり、俳句鑑賞
6/ 2	関市・下有知小	2	83	3.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、春みつけビンゴ
6/ 2	関市・ゴールドヴィレッジほらど	一般	100	1.5	自由見学
6/ 8	関市・桜ヶ丘小（分級）	2～6	20	2	自然展示ビンゴ、体験学習（日光写真、化石クリーニング）

月・日	園・学校など	学 年	来館人数	利用時間	主 な 活 動 内 容
6/11	関市・富岡小	2	84	1	春みつけビンゴ
6/12	阿久比町(愛知)・阿久比中	2	265	2	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
6/13	瀬戸市(愛知)・南塾	3~5	24	4	自然展示ビンゴ、企画展見学、体験学習(日光写真、化石クリーニング)
6/15	関市・寿和苑	一般	21	2	自由見学
6/16	多治見市・ひめこぶし句会	一般	20	1	句会
6/17	関市・中部学院大学		2	2	MMGの解説と見学、学芸員の仕事の説明、展示見学
6/18	名古屋市(愛知)・名古屋教育文化センター	年小	42	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
6/18	関市・寿和苑	一般	25	8	自由見学
6/22	川辺町・川辺西小	5	61	5	自然・人文展示ビンゴ
6/25	大野町・大野小	5	107	5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
7/ 4	関市・関市視覚障害者福祉協会	一般	18	2	自由見学
7/ 9	岐阜市・岐阜本巣特別支援学校中部部	2	21	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習(化石クリーニング)
7/17	関市・頸椎損傷連絡会	一般	13	1	自由見学
7/17	関市・中部学院大学		52	1.5	特別展、資料紹介展及び人文展示室の解説と見学
7/27	小牧市(愛知)・セイシン教育センター	1	70	2	自然展示ビンゴ、特別展解説、自由見学
7/30	一宮市(愛知)・グループホームチアフル	一般	11	2	自由見学
8/ 3	岐阜市・かぐや第一幼稚園	年長	56	1	自由見学
8/ 4	岐阜市・かぐや第三幼稚園	年長	49	1	自由見学
8/ 5	大垣市・大垣市立北小学校区文化財愛護少年団	4.5	25	2	恐竜解説、特別展解説、自然展示ビンゴ、体験学習(化石クリーニング)
8/ 6	小牧市(愛知)・セイシン教育センター(小学生)	1	93	2	自然展示ビンゴ、特別展解説、自由見学
8/ 6	可児市・青木子ども会	1~6	38	1.5	自然展示ビンゴ、自由見学
8/10	岐阜市・岐阜県緑化推進委員会(岐阜県みどりの少年団交流集会)	1~6	180	5	活動発表による交流
8/25	美濃市・美濃土木事務所	一般	25	1	特別展解説
9/18	岐阜東高等学校 生物科学部	1~3	6	1	自由見学
9/26	各務原市・尾崎子ども会	6	80	2	グリーンアドベンチャー
9/29	江南市(愛知)・古知野南小	3	173	2	自然展示ビンゴ
10/ 1	岐阜市・鷺山小	1	105	3	自然・人文展示ビンゴ、秋みつけビンゴ
10/ 5	関市・田原小	1	78	2	秋みつけビンゴ
10/ 5	岐南町・東小	1	97	2	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
10/ 5	下呂市・金山小	1,2	35	1	自然展示ビンゴ
10/ 5	大垣市・墨俣小	1	48	1	自然展示ビンゴ
10/ 5	岐阜市・藍川中	2	5	7	職場体験(人文・普及)
10/ 6	岐阜市・合渡小	2	78	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/ 6	瑞穂市・生津小	2	57	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/ 6	岐南町・西小	1	71	2.5	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/ 6	関市・小金田中	2	5	7	職場体験(人文・自然・普及)
10/ 7	一宮市(愛知)・大和西小	2	90	2	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
10/ 7	一宮市(愛知)・北方小	2	95	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/ 7	松本市(長野)・松本自然観察会	一般	15	1	展示解説(地質)、自由見学
10/ 7	関市・小金田中	2	5	7	職場体験(人文・自然・普及)
10/ 8	関市・富岡小	1	95	2.5	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/ 8	関市・武儀西小	1,2	18	2.5	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/ 8	関市・武儀東小	1,2	31	2.5	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/ 8	可児市・旭小	2	128	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/ 8	大野町・北小	5	50	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/ 8	関市・小金田中	2	5	7	職場体験(人文・自然・普及)
10/11	各務原市・ケアネットリゾン各務原	一般	22	2	自由見学
10/13	関市・田原小	2	65	1	秋みつけビンゴ
10/13	岐阜市・岩野田北小	1	110	1	秋みつけビンゴ
10/13	瑞穂市・西小	1	62	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/13	岐阜市・岐阜総合学園高等学校	1	1	7	職場体験(人文・自然・普及)
10/14	一宮市(愛知)・葉栗小	3	121	3	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
10/14	各務原市・中央小	1	95	2	秋みつけビンゴ、自然展示ビンゴ
10/14	関市・洞戸小	1,2	33	1.5	秋みつけビンゴ、恐竜解説
10/14	岐阜市・岐阜総合学園高等学校	1	1	7	職場体験(人文・自然・普及)
10/15	関市・富野小	1,2	41	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/15	江南市(愛知)・古知野北小	2	71	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/15	関市・旭ヶ丘小	2	75	3	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ、秋のクラフト(ドングリ笛)
10/15	関市・旭ヶ丘小	1	66	1	秋みつけビンゴ
10/15	岐阜市・岐阜総合学園高等学校	1	1	7	職場体験(人文・自然・普及)
10/15	岐阜市・JAぎふ春近支店	一般	63	1	企画展解説、自由見学
10/19	一宮市(愛知)・向山小	2	114	1.5	恐竜解説、秋のクラフト(ドングリ笛)
10/19	美濃市・中有知小	1	38	2.5	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/19	岐阜市・中部学院大学附属幼稚園	年長	63	1	自由見学
10/20	関市・金竜小	1	119	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ

月・日	園・学校など	学 年	来館人数	利用時間	主 な 活 動 内 容
10/20	江南市（愛知）・古知野東小	2	121	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/21	各務原市・川島小	2	130	2	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
10/21	犬山市（愛知）・羽黒小	2	90	1.5	自然・人文展示ビンゴ
10/21	扶桑町（愛知）・山名小	3	65	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（昔のくらしと道具）、恐竜VTR
10/22	岐阜市・木之本小	3	48	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（昆虫採集）、恐竜VTR
10/22	岐阜市・芥見小	1	88	2	秋みつけビンゴ、自然展示ビンゴ
10/22	七宗町・上麻生小	1,2	36	3	秋みつけビンゴ、自然展示ビンゴ
10/22	関市・武芸小	1,2	44	1.5	秋みつけビンゴ、秋のクラフト（ドングリ笛）
10/22	各務原市・あすなる学級	小中	15	1.5	里山ウォッチング
10/23	関市・警察学校初任科生研修		27	3	マイミュージアムギャラリー・自然・人文展示室見学
10/26	御嵩町・御嵩小	1	94	2.5	恐竜解説、秋みつけビンゴ、秋のクラフト（ドングリ笛）
10/26	岐阜市・長森南小	2	141	2.5	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/26	関市・上之保小	1,2	17	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/27	笠松町・松枝小	2	144	3.5	秋みつけビンゴ、秋のクラフト（ドングリ笛）
10/27	関市・南ヶ丘小	1,2	37	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、秋みつけビンゴ
10/27	関市・博愛小	1,2	94	2	秋のクラフト（ドングリ笛）
10/27	白川町・佐見地区公民館	一般	15	1.5	企画展及び人文展示室の解説
10/27	八百津町・和知小	3	33	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/28	一宮市（愛知）・黒田小	2	109	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR
10/28	扶桑町（愛知）・高雄小	3	102	2	恐竜解説、体験学習（昔のくらしと道具）
10/28	山県市・富岡小	2	61	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR
10/28	山県市・大桑小	5	15	2	自然展示ビンゴ、体験学習（遺跡）
10/29	関市・瀬尻小	1	65	1.5	秋みつけビンゴ、秋のクラフト（ドングリ笛）
10/29	関市・瀬尻小	3	79	4.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、グリーンアドベンチャー
10/29	羽島市・正木小	3	187	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
10/29	岐阜市・徹明小	1	30	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
11/ 2	関市・下有知小	1	93	2	秋みつけビンゴ、秋のクラフト（ドングリ笛）
11/ 2	関市・安桜小	2	79	1	秋みつけビンゴ
11/ 2	岐阜市・則武小	1	81	1	自然展示ビンゴ
11/ 2	関市・板取小	1～3	20	1	自然展示ビンゴ
11/ 4	大垣市・赤坂小	1	80	2	自然展示ビンゴ、秋のクラフト（ドングリ笛）
11/ 4	郡上市・石徹白小	1～6	19	2	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ、体験学習（遺跡）、MMG見学
11/ 4	美濃市・牧谷小	1	19	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/ 5	富加町・富加小	1	47	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、秋みつけビンゴ
11/ 5	可児市・広見小	3	129	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/ 5	関市・トンキッキーズ	幼児	18	1	里山ウォッチング
11/ 6	養老町・養老町教育委員会 生涯学習課	一般	51	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、企画展解説
11/ 9	関市・桜ヶ丘中	2	1	7	職場体験（普及・人文・自然）
11/10	山県市・はなぞの北幼稚園	年長	31	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/10	関市・桜ヶ丘中	2	1	7	職場体験（普及・人文・自然）
11/11	稲沢市（愛知）・高御堂小	3	43	2	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
11/11	羽島市・中央小	3	161	1	自然展示ビンゴ
11/11	関市・桜ヶ丘中	2	1	7	職場体験（普及・人文・自然）
11/12	岐阜市・長良東小	1	103	4.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、秋みつけビンゴ
11/16	関市・金竜小	6	41	2	体験学習（化石・地層）
11/17	関市・金竜小	6	41	2	体験学習（化石・地層）
11/24	関市・金竜小	6	39	2	体験学習（化石・地層）
11/26	岐阜市・サニーサイドインターナショナル幼稚園	年中	80	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/28	江南市・ボーイスカウト江南三団	一般	12	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/30	山県市・同朋会 美山荘	一般	10	1	自由見学
11/30	坂祝町・さわやかナーシングさかほぎ	一般	17	1	自由見学
12/ 8	海津市・石津小	5	72	2	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
12/15	岐阜市・長森中（特別支援学級）	1～3	4	2	体験学習（化石）、自然展示ビンゴ
12/21	関市・関有知高等学校	1～3	5	2	体験学習
1/ 7	関市・小金田保育園	年中・年長	71	1	体験学習（七草がゆ）
2/20	岐阜市・岐阜大学教育学部理科教育（生物・地学）	3	22	7	博学連携研修会
2/22	美濃加茂市・太田第一保育園	全園児	50	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
2/24	美濃加茂市・蜂屋保育園	年中・年長	65	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
2/24	各務原市・陵南小	4	80	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
2/25	美濃加茂市・太田第二保育園	全園児	55	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
2/27	静岡市（静岡）・静岡自然史博物館ネットワーク	一般	10	2	収蔵庫見学、自由見学
3/ 1	美濃加茂市・加茂野保育園	年中・年長	124	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
3/ 4	扶桑町（愛知）・扶桑幼稚園	年長	70	3	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
3/10	美濃加茂市・井深保育園	全園児	30	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ
3/10	美濃加茂市・三和保育園	全園児	21	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ
	合 計	161団体	10,138		

8 催しもの開催状況

事業名	期 日	対 象	定 員	参 加	内 容
企画展 関連事業	5/23	一般	50名	8	長良川の源流を訪ねて
	5/29	家族	20名	27	「川と海を旅する魚たち」関連ワークショップ（1） 世界でひとつだけのサケ缶をデザインしよう！
	5/30	家族	10名	10	「川と海を旅する魚たち」関連ワークショップ（2） みんなでつくる川の世界～魚の気持ちにタッチ～
	6/27	家族	20名	14	魚の捕り方教えます ～ビオトープの魚調べ～
	7/ 4	家族	20名	20	夏の小川で魚捕り
	7/10	家族	30名	17	「川と海を旅する魚たち」関連ワークショップ（3） おいしく学ぶサケ缶のヒミツ
	7/11	家族	10名	15	「川と海を旅する魚たち」関連ワークショップ（4） ウロコ博士とウロコDEアート
	8/ 7	一般	20名	29	川原の石を調べよう
カルチャー 講 座	4/21	一般	なし	44	里山ウォッチング
	5/ 9	一般	30名	29	古文書入門（1）
	5/19	一般	なし	8	里山ウォッチング
	6/16	一般	なし	75	里山ウォッチング
	7/21	一般	なし	34	里山ウォッチング
	8/18	一般	なし	24	里山ウォッチング
	9/ 5	一般	30名	21	古文書入門（2）
	9/15	一般	なし	38	里山ウォッチング
	10/20	一般	なし	28	里山ウォッチング
	10/24	一般	40名	15	アメリカ化石調査報告会
	11/17	一般	なし	32	里山ウォッチング
	12/15	一般	なし	27	里山ウォッチング
	1/19	一般	なし	15	里山ウォッチング
	2/16	一般	なし	43	里山ウォッチング
	3/ 6	一般	30名	23	古文書入門（3）
	3/16	一般	なし	27	里山ウォッチング
	3/20	一般	40名	9	百年公園の自然調査報告会
たのしい 博 物 館	4/11	一般	20名	17	ギフチョウ観察会
	4/18	家族	なし	21	家族で春の里山ウォッチング
	4/25	一般	20名	40	鉱物アクセサリーをつくろう
	5/ 2	家族	40名	24	木のこいのぼり・五月人形
	5/ 3	家族	40名	30	化石のレプリカをつくろう
	5/30	一般	40名	28	楽しい折り紙教室
	6/ 6	一般	20名	29	化石をみがいてペーパーウェイトをつくろう
	6/20	一般	20名	15	おいでよ！博物館
	7/18	家族	なし	11	家族で夏の里山ウォッチング
	7/19	家族	40名	40	木の恐竜と動くおもちゃづくり
	7/25	家族	20名	17	家族で昆虫標本をつくろう
	7/31	家族	70名	60	家族でナイトウォッチング

事業名	期 日	対 象	定 員	参 加	内 容
たのしい 博 物 館	8/ 1	家族	30名	45	火おこし器をつくろう
	8/ 8	家族	20名	19	家族で昆虫標本をつくろう
	8/15	家族	40名	43	化石のレプリカをつくろう
	8/22	家族	40名	38	化石クリーニング体験
	8/22	家族	40名	38	化石クリーニング体験
	9/15	一般	20名	19	おいでよ！博物館
	9/23	一般	30名	47	まが玉をつくろう
	10/10	一般	20名	15	木の実で遊ぼう
	10/11	一般	30名	36	まが玉をつくろう
	10/17	家族	なし	18	家族で秋の里山ウォッチング
	11/21	一般	200名	213	徳山のくらしを体験しよう
	12/12	一般	40名	15	和風をつくろう（やっこ風）
	12/19	一般	40名	47	わら細工～しめ飾りをつくろう～
	1/ 6	一般	20名	20	春の七草ウォッチング
	1/16	一般	20名	6	津保川でカモを観察しよう
	2/20	家族	なし	42	家族で冬の里山ウォッチング
	3/21	一般	20名	17	おいでよ！博物館
ギャラリー 関 連 事 業	9/12	一般	20名	16	アートに挑戦 ザ・陶板！
	9/12	一般	20名	15	アートに挑戦 ザ・陶板！
	9/20	一般	20名	16	アートに挑戦 ザ・陶板！
	9/20	一般	20名	22	アートに挑戦 ザ・陶板！
	10/17	一般	なし	212	わら細工実演
	10/30	一般	なし	40	わら細工実演
	10/31	一般	なし	100	わら細工実演
	10/31	一般	30名	13	わら馬をつくろう
	11/ 2	一般	なし	53	わら細工実演
	11/ 3	一般	なし	418	わら細工実演
	11/20	一般	なし	80	わら細工実演
	11/21	一般	なし	173	わら細工実演
特 別 行 事	5/ 4	一般	300名	258	春のグリーンアドベンチャー
	1/ 7	一般	200名	250	七草がゆを食べよう
博物館講座	6/ 3	教員	20名	8	石器づくり体験・火おこし体験のつぼ
	6/ 9	教員	30名	12	授業で生きる化石レプリカの作成方法
	7/23	教員	20名	5	生活道具を教材にしよう
	10/ 7	教員	20名	8	五感を活用した自然観察の方法
			合 計	3,331	

9 出前授業

期 日	用 務 先	対象児童等	人数	会 場	授 業 内 容
平成22年 5月27日	関市立武儀東小学校	4年生	16	津保川	カワゲラウォッチング
平成22年 5月27日	関市立武儀東小学校	1・2年生	28	武儀東小学校裏山	身近な自然
平成22年 6月 1日	美濃市立牧谷小学校	5年生・教員	32	牧谷小学校内	魚の生態と飼育
平成22年 6月17日	関市立桜ヶ丘小学校	4年生	90	桜ヶ丘小いずみの森	いずみの森の植物
平成22年 6月18日	郡上市立吉田小学校	5年生	20	粥川	カワゲラウォッチング
平成22年 7月 1日	川辺町立川辺西小学校	5年生	40	川辺町立川辺西小学校	化石レプリカ
平成22年 7月 7日	関市立瀬尻小学校	4年生	89	長良川	カワゲラウォッチング
平成22年 7月 8日	関市立武儀西小学校	4年生	7	津保川	カワゲラウォッチング
平成22年 7月13日	郡上市立石徹白小学校	1～6年生	12	石徹白小学校	水生生物の観察
平成22年 7月14日	関市立桜ヶ丘小学校	4年生	90	桜ヶ丘小学校	いずみの森の植物
平成22年 9月 8日	加茂郡富加町立富加小学校	4年生	44	川浦川	カワゲラウォッチング
平成22年 9月22日	関市立旭ヶ丘小学校	5年生	77	吉田川	カワゲラウォッチング
平成22年10月 6日	関市立富野小学校	5年生	17	小野川	カワゲラウォッチング
平成22年10月28日	岐阜市立芥見東小学校	5年生	110	岐阜市立芥見東小学校	化石レプリカ
平成22年10月30日	各務原市立那加第二小学校	1～6年生	45	各務原市那加第二小学校	まが玉づくり
平成22年11月 6日	美濃加茂市立山手小学校	5年生	40	美濃加茂市立山手小学校	化石レプリカ
平成22年11月10日	関市立瀬尻小学校	4年生	87	長良川	カワゲラウォッチング
平成22年11月13日	各務原市立鵜沼第一小学校	高学年	30	各務原市立鵜沼第一小学校	化石レプリカ
平成22年12月26日	国立大学法人岐阜大学	大学生	40	岐阜大学	考古学Ⅰ 旧石器時代の研究
平成22年12月27日	国立大学法人岐阜大学	大学生	40	岐阜大学	考古学Ⅰ 縄文時代の研究
平成23年 1月27日	岐阜市立柳津小学校	5年生	30	岐阜市立柳津小学校	「外来生物」と「河川の水質」の話
平成23年 2月 4日	関市立瀬尻小学校	4年生	87	長良川	カワゲラウォッチング

10 講師派遣

期 日	依 頼 先	対 象	人数	内 容（会 場）
平成22年 4月19日	岐阜県職員研修所	岐阜県新規採用職員	70	岐阜県の文化と歴史（ふれあい会館）
平成22年 5月21日	多治見市学習館	高齢者	98	仏像入門
平成22年 5月23日	美濃加茂市太田宿大八文庫	一般	50	身近な考古学
平成22年 6月12日	日本最古の石博物館	小中学生の親子	40	カワゲラウォッチング
平成22年 6月18日	多治見市学習館	高齢者	97	郷土の仏像～多治見市を中心として～
平成22年 6月20日	関市西部公民館	小学生の親子	50	津保川自然観察会
平成22年 6月26日	岐阜県文化財保護協会関支部	一般	50	関市の文化財（彫刻の部）2件が国重文指定を受ける～春日神社「木造能狂言面」と常楽寺「木造菩薩坐像」～
平成22年 7月 8日	美濃加茂シティーホテル	一般	20	中濃の戦国時代
平成22年 7月28日	揖斐川町歴史民俗資料館	小中学生	20	まが玉づくり
平成22年 8月 4日	揖斐川町歴史民俗資料館	小中学生	20	まが玉づくり
平成22年 8月 6日	中津川市福岡町八布施地区	1～6年生	7	小川の生物調査
平成22年 8月10日	NPO法人長良川環境レンジャー協会	1～6年生	15	揖斐川の自然観察
平成22年 8月21日	大野町立公民館	小学生	100	化石レプリカ他体験講座
平成22年10月 2日	岐阜県先端科学技術体験センター	小中学生	24	石器をつくろう
平成22年10月16日	岐阜市埋蔵文化財調査事務所	一般	100	縄文時代石器の特質（ハートフルスクエアG大研修室）
平成22年12月 5日	各務原市市民講座	一般	80	古代の各務野の姿～河と道を中心として～
平成22年12月 9日	美濃加茂シティーホテル	一般	20	水運から浮かびあがる可茂の古代
平成22年12月11日	木曽三川フォーラム	行政やNPO法人等	100	特定外来生物移入防止研修会
平成23年 2月15日	岐阜市埋蔵文化財調査事務所	職員	5	岩田東・岩田西遺跡の石器

〔利用状況〕

1 入館者数

本年度は、入館者数44,523人で前年に比べて1,102人、2.4%の減となった。これは、1～2月にリニューアル工事による休館があり、開館日数が少なかったことや、8～9月の猛暑により外出が減ったことが、原因と思われる。

開館日数は272日であり、1日平均の入館者数は164人で、1日あたりの入館者が最も多かった日は、館の無料開放日となる11月3日の文化の日で1,071人を数えた。

団体入館者数は9,630人で、入館総数の約21.6%を占めており、月別では10月が3,927人で一番多く、団体入館者総数の40.8%を占めている。

特別展期間中の中の入館者数は下表のとおりである。入館者総数は7,117人を数え、1日平均は117人であった。

月	高校生以下	大学生	一般	計	開館日数	一日平均
4	1,368	15	1,837	3,220	26	124
5	3,480	34	3,090	6,604	26	254
6	1,373	25	2,236	3,634	26	140
7	1,098	93	1,553	2,744	27	102
8	1,963	22	2,399	4,384	26	169
9	1,112	17	1,342	2,471	26	95
10	5,241	6	2,383	7,630	27	283
11	2,524	10	2,388	4,922	25	197
12	448	31	708	1,187	23	52
1	397	3	430	830	7	119
2	395	14	768	1,177	6	196
3	1,592	42	4,086	5,720	27	212
計	20,991	312	23,220	44,523	272	164

特 別 展 名	期 間	高校生以下	大学生	一般	計
川ーカワ・イイね！～流れがつくり出す自然～	7/2～8/31	3,060	115	3,942	7,117

2 施設利用

今年度の講堂及び研修室等の主な利用者は、次のとおりであった。

<講堂>

4/10	サポーター研修会	8/21	岐阜県植物誌調査会
4/17	岐阜県植物誌調査会	8/24	関市小学校理科研究部会
4/28	岐阜県博物館協合理事会	9/ 7	岐阜県高等学校長協会常任理事会
5/10	岐阜県百年公園	9/25	岐阜県植物誌調査会
5/13	博物館友の会理事会・総会	10/ 3	ダチョウ組
5/15	岐阜県植物誌調査会	10/16	岐阜県植物誌調査会
5/28	岐阜県小学校社会科研究部会	10/21	博物館友の会理事会
6/ 1	岐阜県高等学校理科実験研究会	11/11	岐阜県博物館協議会
6/ 3	博物館活用講座	11/20	岐阜県植物誌調査会
6/ 4	岐阜県高等学校教育研究会地歴公民部会	11/21	ダチョウ組
6/16	ダチョウ組	12/18	岐阜県植物誌調査会
6/19	岐阜県植物誌調査会	1/22	岐阜県植物誌調査会
7/17	岐阜県植物誌調査会	2/19	岐阜県植物誌調査会
7/23	博物館活用講座	2/20	岐阜大学教育学部博物館研修
7/29	サポーター研修会	2/25	岐阜県小学校社会科研究部会
8/ 6	美濃・可茂教育事務所初任者研修	2/27	ダチョウ組
8/10	上伊那校長会	3/ 3	岐阜県中濃地区高等学校生物部会
8/17	岐阜県中学校理科研究部会	3/ 8	岐阜県百年公園
8/18	岐阜県小中学校環境教育部会	3/10	岐阜県博物館協合理事会
8/20	山県市小学校理科研究部会	3/19・29・30	岐阜県植物誌調査会

<研修室>

4/21・29	ダチョウ組	9/ 5・15	ダチョウ組
5/ 9・19	ダチョウ組	9/ 7	岐阜県高等学校長協会常任理事会
5/28	岐阜県小学校社会科研究部会	10/ 3	ダチョウ組
6/ 1	岐阜県高等学校理科実験研究会	10/ 7	博物館活用講座
6/ 3	博物館活用講座	11/ 3	ダチョウ組
6/ 4	岐阜県高等学校教育研究会地歴公民部会	12/12	コアサイエンスティーチャー研修会
7/11	ダチョウ組	12/19	ダチョウ組
7/23	博物館活用講座	1/10・30	ダチョウ組
8/ 6	美濃・可茂教育事務所初任者研修	2/25	岐阜県小学校社会科研究部会
8/17	岐阜県中学校理科研究部会	2/27	ダチョウ組
8/18・22・29	ダチョウ組		

<ハイビジョンホール>

6/ 1	岐阜県高等学校理科実験研究会
8/ 6	美濃・可茂教育事務所初任者研修
8/17	岐阜県中学校理科研究部会
11/12	岐阜県文化財担当者会議
2/27	ダチョウ組
3/19	岐阜県博物館協会研修事業

〔博物館関係団体〕

1 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

公開講座（年4回）、機関紙発行（年3回）、会員研修会（年3回）等の諸活動をくり広げ、設立の目的に沿うように努力した。

平成23年3月現在、会員館園は128名、個人会員は13名

主な役員は次のとおり。

会長…若宮多門、副会長…名和哲夫、古川秀昭、石田克、榎本徹、西永勝己、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

4/15	協会監査
4/28	第1回理事会
5/21	岐阜県博物館協会通常総会
5/21	第4回県民文化講演会
6/11	第74回会員研修会
7/ 2	機関紙委員会
7/16	東海地区博物館連絡協議会総会
7/17	第122回公開講座
8/ 8	第123回公開講座
8/25	第1回白山文化発信事業に関する打合せ
9/22	第2回白山文化発信事業に関する打合せ
9/23	第124回公開講座
10/13	第75回会員研修会
10/28～29	東海三県博物館協会研究交流会
11/24～25	全国博物館大会
11/27	第125回公開講座
11/30	機関紙「岐阜の博物館」第163号発行
11/30	第76回会員研修会
1/27	第3回白山文化発信事業に関する打合せ
2/ 1	機関紙「岐阜の博物館」第164号発行
3/ 2	研修委員会
3/10	第2回理事会
3/15	機関紙「岐阜の博物館」第165号発行

2 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、動物・植物・地学等の自然系や歴史・考古・民俗・美術工芸等の人文系などに興味、関心を持つ人々の展示観覧、研究、学習の便宜を図って、博物館の教育普及との密接な連携により、博物館の事業や活動をサポートしていく会である。

平成22年度の一般会員数は217名、後援会員は9団体である。21年度との比較で一般会員はほぼ横ばいであるが、昨年度は20年度比で一般会員は30名減であった。近年、会員数は、減少傾向にある。継続会員の高齢化が進み、新規の会員数より退会者が増えてきていることによるものである。後援会員数は2団体の退会があった。

県民に「友の会」の存在や活動内容について知ってもらうことが必要である。そのためにも館内での活動内容を紹介するパネル作成や、館との共催事業などで一層の連携を取り、豊かな活動に心がけて推進しているところである。

平成22年度の主な事業、行事は次の通りである。

(1) 会議

春季理事会・総会	5月13日(木)
秋季理事会	10月21日(木)
会長・副会長会	3月12日(土)

(2) 各種委員会

会報委員会	4月24日(土)
探訪の旅委員会	9月 9日(木)
七草委員会	11月12日(金)、1月6日(木)

(3) 広報誌の発行

季刊誌「友の会報」は98号(6月)、99号(10月)、100号(2月)の年3回発行。2月号は発刊100号を記念して会員から博物館友の会に寄せる想いなどを掲載することができた。各誌A4判6頁で図・写真オールカラー。各300部

(4) 在庫図録の販売

在庫図録の販売は、館内ショップでの販売と、外部施設での委託販売が中心である。また電話での図録の問い合わせ注文もある。委託による図録販売は、県内では「高山陣屋」、「岐阜県世界淡水魚水族館(アクア・トトぎふ)」、「下呂温泉博物館」、「レストハウス花兆」、「百年公園事務所」、「岐阜県図書館」の7ヶ所と、県外では「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)」の2ヶ所と委託販売契約を結んでいる。

(5) 博物館との共催事業の実施

①特別行事 「七草がゆを食べよう(1月7日(金))」は好天にも恵まれ約240名程の参加があり、特に地元の市長、県議なども来館試食され大いに賑わった。サポーターの参加は18名と例年になく多数の協力の他、ボランティアの協力等もあり、七草のクイズで知識を広め、無病息災を願って、七草がゆが参加者に提供でき、大変好評であった。

②わくわく体験共催事業

児童・生徒を対象とした化石クリーニング、化石レプリカ作成などの体験を郷土学習室でサポーターの協力も得て土日、祭日の他、夏季休業中に実施し、年間約2,700名の参加者があった。

②企画展関連事業 「長良川の源流を訪ねて」企画展期間中

③たのしい博物館 「木のこいのぼり・五月人形」「化石のレプリカをつくろう」「まが玉をつくろう」など12種23回

(6) 友の会員入館の入館料補助

会員の博物館見学者は、4月1日から3月31日の1年間に、常設館への入館者277名、特別展期間中への入館者36名、合計263名の入館があり、その入館料(団体料金相当)を友の会で助成した。

(7) 探訪の旅

友の会では、会員相互の見聞を広め教養を高めるとともに、親睦を図ることを目的に、海外への探訪並びに国内の探訪を実施している。昭和61年以降、今日まで国内探訪としておよそ70カ所の名所、旧蹟を訪ねる旅を実施した。平成4年からは、更に海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に置き、十数回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。研修と見学を柱とした友の会特有の特色は次の通りである。(1) 訪問の目的を明確にして、手作りの日程を策定する。(2) 取得したデータ・調査結果は訪問施設の解説冊子として編集し、参加者全員に配布し現地での研修・見学の補助資料として活用している。

①国内探訪 期日は8月25日(水)に比叡山三地区寺参り(東塔地区～西塔地区～横川地区)の旅を実施した。参加者は39名。東塔地区では延暦寺で最も中心的存在である根本中堂で法話を聞き、「忘己利他」などいくつかの法話の言葉が強く心に残った。西塔地区ではにない堂、法華堂、釈迦堂を見学。横川地区では横川中堂、元三大師堂、比叡山行院を見学。猛暑ではあったが木陰にはいるとさわやかな風を感じつつ、心もさわやかさを感じることができた1日であった。

②泊を伴う探訪 「隠岐の歴史を尋ねて」を秋に実施するよう計画したが、最少催行人数に達せず、再募集して、23年5月に実施することになった。

(8) 世界遺産探訪の歩み～写真・絵画・思い出の品～

友の会発足25周年記念の発案行事として、海外探訪の旅の活動と成果を広く一般来館者に紹介しようと参加会員から思い出の品をマイミュージアムギャラリーで展示。平成22年11月28日から23年1月10日まで。展示参加者33名。出品数128点(写真62・絵画33・思い出の品33)展示品には心に残る思い出の言葉を短く折り込み一斉に展示した。

Ⅲ 利用案内（平成23年度）

●開館時間 4月～10月 9時 ～16時30分（入館は16時まで）
11月～3月 9時30分～16時30分（同上）

●入館料

区 分	本 館		マイ・ミュージアム棟
	個 人	団 体	
一 般	320円	260円	無 料
大 学 生	110円	50円	
高 校 生 以 下	無 料	無 料	

※団体は20名以上。

※団体、下見でのご利用は、事前にご連絡ください。

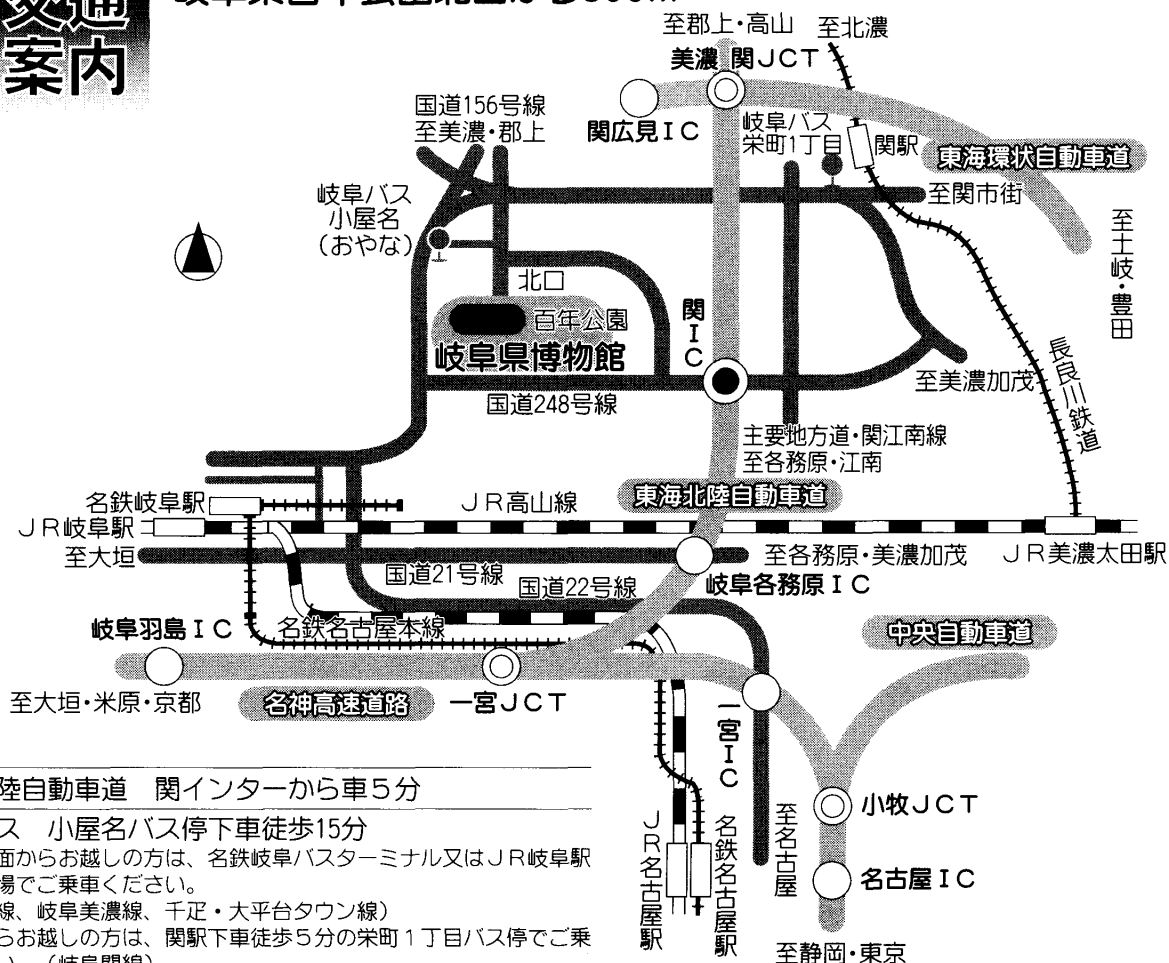
※特別展開催期間中は別料金場合があります。

※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料。入館の際に障がい者は手帳等をご提示ください。

●休 館 日 ・月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日）
・年末年始（12月29日～翌年1月3日）
・リニューアル工事 平成24年1月23日～2月10日



岐阜県百年公園北口から300m



・東海北陸自動車道 関インターから車5分

・岐阜バス 小屋名バス停下車徒歩15分

※岐阜駅方面からお越しの方は、名鉄岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください。

（岐阜関線、岐阜美濃線、千正・大平台タウン線）

※関方面からお越しの方は、関駅下車徒歩5分の栄町1丁目バス停でご乗車ください。（岐阜関線）

岐阜県博物館へは百年公園北口駐車場をご利用ください（有料）。歩行が困難な方は博物館まで車の乗り入れができますので、北口ゲートでお申し出ください。

〒501-3341 岐阜県関市小屋名 1989（岐阜県百年公園内）

TEL(0575)28-3111(代) FAX(0575)28-3110 <http://www.gifu-kenpaku.jp/>